京城日報

十二月二十日夕刊　(朝夕併せて八頁)

◇烏拉以西出兵如何
＝確なる筋にては否定＝

我政府は西伯利出兵の目的を達する爲めウラル以西に出兵せんとするの議起りつゝあるも確かなる筋にては全然是を否定し斷じて今後出兵すること無きを明言し居れり(東京特電)

◇露國占領公文書
＝加州知事の發表要求＝

華府發＝米國加州知事ジョンソン氏は上院に於て露國占領に關する總ての公文書を國務省より發表せんことを要求し且つ露國行米國軍隊の行動に就き詳細なる報告を爲すこと並に露國に對する政策に就き説明書を發表せんことを希望せり(東京特電)

◇聯軍過激掃蕩計畫
英艦隊レウワール東岸砲撃

最近波羅的海レウワール港に入港せる十二隻より成る英國艦隊は同地東岸を砲撃したりこの報斯德堡より莫斯科に入電ありたり又聯合軍は漸次北上し英軍は高加索土耳其斯坦に佛軍は羅馬尼に向つて進みつゝあるが斯くして聯合軍は南北露西亞一體の過激派を掃蕩せんとするもの、如し(東京特電)

◇總理同意案通過

錢國務總理同意案は十八日總票數百九十票中百五十票の大多數を以て參議院を通過せり(北京電報)

◇日米無線電信開始

遞信省公表＝米國政府が軍事上の必要に依り本年二月以來中止し居たる船橋無線電信局の媒介に依る日米間無線電信は本月十九日より再び其取扱を開始せり(東京特電)

◇總督天機奉伺

長谷川總督は十九日午後一時參內天皇陛下に拜謁仰付けられ　天機奉伺の後退出したり(東京特電)

◇內山武官出發

西伯利及び滿洲方面派遣部隊將卒慰問旁狀況視察の爲め同地方へ差遣の御沙汰を拜したる侍從武官長內山大將は栗山騎及び隨員一名を隨へ十九日午後十一時東京を出發したるが一行は敦賀より浦鹽に向ひ浦鹽派遣軍司令部なる大谷司令官に面接　聖旨を傳達したる後夫々各地方に於て　聖旨を傳達し明年一月下旬頃歸京の豫定なり(東京特電)

◇原首相午餐會

原首相は十九日正午永田町官邸に床次鐵道院總裁石丸副總裁兒玉賞勳局總裁横田法制局長官高橋內閣書記官長古賀拓殖局長官池田印刷局長其他內閣所屬各高等官約八十名を招待し午餐會を開きたるが席上原首相の挨拶に對し床次總裁は一同を代表して謝辭を述べ午後二時散會せり(東京特電)

◇豫算內示會

二十日首相官邸に衆議院各派代表者を招待し豫算內示會を開きたり(東京電報)

◇植民地豫算
近く查定終了

鐵道特別會計豫算及び各殖民地明年度豫算は過般來大藏省に於て查定中なりしが既に鐵道特別會計豫算は大體の查定を終り殖民地豫算も茲數日中には全部查定を終了すべし(東京特電)

◇外調開會期

來る二十二日午前十時永田町首相官邸に於て臨時外交調查委員會を開き外交上の重要案件を附議することに決定せり(東京特電)

◎後貝加爾鐵道
セ氏妨害虛言

近時セミヨノフが後貝加爾鐵道を獨占し西伯利亞の交通を妨害すとの風說盛んなるも其實況次の如し一、後貝加爾鐵道當局者の言によればセミヨノフ軍は何等運行に干渉することなく必要の際に於てはセミヨノフより順序を經て請求し來り決して鐵道法規を無視することなし　二、目下セミヨノフ軍の專用しある輸轉材料は客年二十五なるに反し一般商人の使用しあるもの百五十乃至二百なり　三、鐵道の運行は意の如くならざるの原因は俸給の不拂ひ(約三ヶ月未拂)輸送材料の修理遲々たること及各將校及鐵道高級職員の往復に特別列車を頻發するに在り　四、セミヨノフ軍の鐵道隊は輸轉材料の修理に加勢し且つセミヨーノフは時々食糧雜貨の販賣をなし以て從業員の生活を助け鐵道の爲めに貢獻する所あるもし　五、コルチヤツクの命により鐵道視察の爲め派遣せられたるミハイロフ少將は仔細に視察の後風說と實際と全く異れるを知り直にオムスクに向ひ鐵道に關するセミヨノフの事件は全く無實にして寧ろ彼は北運行に對し多大の努力を爲し爲に鐵道は漸く現況を保持し得るものなりと報告せりと云ふ

◎定例長官會議

二十日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監を始め各部局長並に所屬官署長參集諸般政務に就き夫々審議する處あり正午散會せり

◎私營造林事業
逐年進展す

大正七年中に於ける私營造林事業は新面積三萬五千三百八十七町歩植付本數一億五百五十萬本にして之を明治四十三年以降每年の面積及び本數に比較すれば左の如し

年次	新植面積(町)	植付本數(千本)	新植一町歩ノ植栽本數
四十三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四十四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四十五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同七年	三五、三八七	一〇五、五〇〇	[illegible]

右に依り該事業の逐年進展しつゝあるを知るべし而して明治四十三年以後の累計は面積十五萬四千三百四十三町歩にして此の植付本數實に四億六千六百五十萬六千本の多數に及べり尚大正七年に於る私營造林事業の道別狀況を通覽するに

▲新植面積　は忠淸北道の七千九百七十七町歩最も多く忠淸南道の四千六百二十五町歩之に亞ぎ慶尚南道京畿道慶尚北道平安南道黄海道平安北道全羅南道咸鏡南道咸鏡北道江原道順次相亞ぎ全羅北道の千五十六町歩最も尠し植付本數は忠淸北道の二千六十六萬本最も多く慶尚南道の千百七十萬本之に次ぎ忠淸南道京畿道慶尚北道黄海道平安南道平安北道咸鏡南道全羅南道咸鏡北道全羅北道順次相亞ぎ江原道の三百四十五萬本最も尠し

▲一町歩當植付け本數は黄海道の四千五百八十四本最も多く忠淸南道の二千四百二十本最も尠く其他二千五百二十本乃至三千四百十七本の間にあり更に十三道の一町歩當

▲平均本數　を見るに二千九百八十一本にして昨年の三千三百十五本に比し三百三十四本を減ぜり即ち一坪當一本以下の植付け本數となれるは疎植に失するを以て更に其本數を少くとも一坪當一以上に增加し成るべく集約なる林業の經營に改むるの要あり植樹種の主なるものはアカマツ、クロマツ、ニセアカシヤ、クリ、クヌギ、白楊類、カラマツ及びヤマハンノキの八種にして之を新植面積に依り示せばアカマツの八千百七十一町歩首位を占めクロマツの六千五百二十七町歩クヌギの五千四百六十一町歩カラマツの五千百五十五町歩ニセアカシヤの三千四百五十三町歩クリの三千百四町歩

▲白楊類の　千二百七十六町歩ヤマハンノキの二百九十四町歩順次相亞ぎ植栽本數に於てはアカマツの二千七百八十一萬二千本クロマツの千八百四十八萬九千本クヌギの千五百四十萬九千本カラマツの千三百五十三萬九千本ニセアカシヤの千百四十四萬四千本クリの七百九十一萬九千本白楊類の四百三十一萬七千本ヤマハンノキの八十四萬八千本順次相亞げり其他の樹種はキリ、コノテカシハ、ケヤキ、ハンノキ、サクラ、イチフ、テウセンヤツ外二十四種にして此の新植面積千九百四十一町歩植付本數五百七十六萬二千本に達せり

▲植付苗木　の種類を見るに二三不明の道あり正確を期し難きも大體に於て實成苗最も多く八千四百二十一萬二千本(總數の八〇パーセント)にして天然苗之に次ぎ千八百三萬二千本(總本數の一七パーセント)にして揷木最も尠く三百十八萬五千本(總本數の三パーセント)なり而して植栽者の數は總人員六萬二千六十六人にして內地人の數より遙に多大なるも其一人當平均面積は僅に四反七畝歩に過ぎずして內地人の同六町五反四畝歩に及ばざること遠し從つて今後益々一般私營造林事業の隆盛を期すべきは勿論なるも特に朝鮮人に對し一層林思想の喚起に努むるの要あり

◎外米輸入可能
當地某大會社入電

京城某大會社に對し十九日東京より入電によれば政府の盡力により蘭貢米並に支那米の輸入可能となり臨時船腹準備中にあり兩三日來の定期下押しは正米崩れ以外幾分右の事情等を含めるもの、如し

◎事業家に對する要望(上)
西比利亞及支那漫遊所感

東拓總裁　石塚英藏氏談

從來東拓會社の事業は朝鮮にのみ限られてゐたが昨年の十月法令の改正に依つて海外各方面に業務擴張する事となつた然し今迄朝鮮に於てのみ限られてゐた事業を海外に擴張するからといつても一時に各方面に着手するといふ事は甚だ難事であるそこで先づ以て

▲滿蒙方面　に手を延ばして大いに發展を計り一方南洋方面は海外興業會社を通じて事業を開始してゐる大連には夙に支店を設置して長春、哈爾賓等には未だ支店は無いが既に手は着けてゐる斯く業務の擴張を見た以上は一年に二三回は是非とも巡視の必要は認めてゐるけれども業務多端にして未だ實行が出來なかつた次第であるが其第一着として漸く去る十月二十二日より約五十日の旅行を續けて來たのである今日は時局の爲めに堅く閉されてゐた西伯利の扉も漸く開けた形ちで此の好機に於て諸般の施設をなすことは肝要であると予は先づ哈爾賓より

▲浦鹽斯德　に出で再び哈爾賓に引返して滿洲里を訪れる心組で一切の準備も全く整ひ愈出發する際になつた折から不幸にして流行性感冒にかゝり心ならずも一行の內を裂きて其一部員を該地方に向はしめ自分は北へ向ひし足を南へと向け吉林、鄭家屯を廻りて奉天に返り大連、旅順を視察し大連埠頭より青島に向ひそれより濟南を訪れたが此處迄は是非とも視察すべく豫定の土地であつた譯で途は何れを辿るべきかと考へた結果先づ上海に出でそれより船にて長崎に上陸し

▲九日の朝　漸く歸京した次第である朝鮮には足を留むる暇もなく唯通過したに過ぎなかつたが此度の旅行に於て得たる處は決して尠くない滿蒙より西伯利地方にかけて各方面より種々の計畫の存することに調査に着手してあるも、多い中に於て痛切に感じた一事は我同胞の彼の地方に於て何事に依らず事業を計畫せんとする者の徒らに其功を急ぐといふのである是れは我國民性の大缺陷ではあるまいか譬へば鉄鐵の採掘せしものがありとすれば是れを買取つて直に賣り放す金地があれば是れを安價に求めて高價に賣らうといふ次第で先づ鑛山の調査を行ひ是れを採掘して永遠の利益を計るといふやうな事には一切着手してゐない

▲是れに反　して米國其他の國々の人は遠大なる思慮の下に功を永遠に期し決して些細の事に目をくれない損をして得を取るといふ有樣で最初の程は惜し氣も無く金を振蒔くのである今米國のやりかたを見るに基督教青年會を先頭として諸般の活動に當り此青年會の組織たるや實に大々的のものあり是れが爲めに少からぬ資金を投ずるのである是等青年會が未開の地方に先頭として進み或る適當の時機を得たる場合に於ては會員は或は勞働者に或は技師に變じて活動するのである、その哈爾賓等に於ける狀況を見るに先づ當初はテニスグランド等の運動場を設け露西亞人の兒童をして

▲大に愉快　に運動せしむるのであるが從來運動不完全なる露兒は是れに依て健康を快活にし身體の發達著しきを見るされば其の父兄の喜悦は實に譬ふるに物がない程である露人は茲に於て愈米人を信じ且つ敬するのである從つて各種の事業は意の如く進捗せしむることが出來る(東京支局)

◎金利漸次緊縮

內地の金融界は十二三日以來漸次緊縮しつゝあるが朝鮮金融の大勢も內地に伴ひ歳末の切迫大需季の決濟資金並に殺棉出廻り資金の大需要及び前途の警戒より金利はジリ高となりつゝあり京城一流手形の割引も昨今二錢三四厘所を唱へつゝありと

◎東拓十周年
記念自祝宴

東洋拓殖會社京城支店にては來る二十八日同社創立十周年に相當するも同日にては除りに歳末切迫し記念祝宴の擧行上不便を感ずるに付特に繰り上げて來る廿三日夜花月に京城新聞通信雜誌の主腦者並に關係記者約三十名を招待し越えて二十四日は朝鮮ホテルに官公吏實業家二百餘名を招待自祝宴を開催すべく川上駐在理事より招待狀を發したり

◎內地財界
戰後の反動と事業界

韓相龍氏談

此程東京より歸城せる漢城銀行專務韓相龍氏は語る。內地財界の反動は內地の各方面に現はれ、而して次第に過激にて來たやうである、而してその先驅となつたのは鐵、染料、藥品などであつて

▲大阪方面　先づ波瀾を惹起せるがそれらの破綻を生じた商人は戰爭により巨富を得たのでツイ各方面に手を出すやうになり、その方が思ふ樣に行かず累ひが本職に及んだと云ふのもあるらしい今後も之等商人のボロは尚ほ出るものと思はねばなるまい、工業方面では中央の關係官廳で戰後事業界の打撃を受けし際の失職々工救濟策を講究せられつゝあり又大阪方面にても既に職工の失職せるもの七萬餘名を算するとの事であるが今後戰爭中に於ける金融緩漫の反動が來れば之等の問題の對策並に處理は頗る重要事であらうと思はるる唯日本

▲現時の財界　は之れを戰前に比するに財政經濟共に非常に膨脹しあつて實に驚ひ迄なつてゐる從つて多少の不景氣が襲來しやり過ぎによる個人々々の打撃は出ても之れを大局より見て前途さしたる恐ひはないと信ずる然し乍ら五十年前普佛戰爭に於て戰勝の獨逸は佛國より五十億フランクの償金を得たが戰後獨逸の財界は意外にも恐慌を來すの不況に陷り出したに拘はらず五十億法を出した佛國は反つて戰後一般に事業も貿易も進展した、之れは何故であるか乃ち獨逸は五十億の償金を得て安心し放慢の態度をとるやうになつたためであり佛國は巨額の償金を支拂ひ人心緊張し警戒を旨としたからだらうと思ふ日本も

▲大戰の結果　五六十億の收益あり各方面共稍安心の色は見ゆる然し日本は日淸、日露の兩戰役を經て戰後の財界に如何に處すべきかは有識者の夙に講究せる所だし金融界に及ぶべき風波も從來に比し數倍する事を銀行業者は覺悟してゐるのだから反動來の打撃は結局前述の如く大した事はあるまい、東京の金融界は漸次緊縮してゐる、コールも十日まで一錢三四厘のもの十二日には一錢六七厘となり昨年は一錢七八厘に上つてゐる然し之れは反動來の警戒のみでなく年末決濟資金の大需要より來てゐるやうだ、それから東京、大阪方面に於ける各銀行の預金爭奪は隨分酷いものであつたが東京は

▲協定利率　を設けて十二日より實行した、該協定の成立するまで大銀行は寧ろ有利なりしも小銀行は預金者より苛めぬかれてゐたのである、然し預金利子の新協定は此間の緩和に大に力があると云つてよい、漢銀の東京支店も或る方面よりは協定加入を勸められたけれども先づ新設の店ではあるし入らない事にした、然し手形交換所は當初鮮銀にお頼みする筈だつたが色々の都合上第一銀行に代理交換を依頼する事となり本月の四日その加入は各銀行滿場一致で容れられてゐる

◎地査委員會

高等土地調查委員會にては二十日午後一時半より總督府會議室にて第四部の委員會を開けり

◎講習終了式

今回總督府に於ける新しき試みとして判任官見習ひ講習制度を設け其の第一回を市內永樂町研究會に於て開會中の處愈來る二十三日午前同會堂に於て終了式を擧行することゝなりたるが同日は宇佐美長官の訓示あり終つて講習生三十九名に對し修業證書の授與あるべし因に講習生は各道に對し三名宛夫々配付實務に從事せしむべしと

◎葉恭綽通過期

支那交通次長葉恭綽氏は二十日北京出發渡歐の途次內地に赴くべく不日京城を通過すべしと

◎東少將北行

新任支那公使館附陸軍武官東少將は豫記の如く二十日午前九時二十分京城發大連經奉天へ直行せり

◎國分次官張宴

國分李王職次官は久しく東上王世子殿下御婚儀の手續きを了へて此程歸京せるに付十九日夜京城記者團の主なる者十餘名を花月に招待せるが主人側には同職各課長出席せり

◎荻田理事長設宴

東洋協會專門學校理事長荻田悅造氏は廿日午後六時朝鮮ホテルに同校評議員並に各理事を招待し晩餐會を催せり

人事消息

▲中村殖產理事　十九日夜馬山より歸京

▲大內代議士　十九日夜退京歸東

▲白井水城氏(辯護士)　所用にて博多へ赴く

▲原田恭藏氏(太洋海運會社々員)　廿日朝入京天眞樓へ

八面鋒

◇米國は西伯利經營につき頗る雄大なる理想を抱き居れることは、世にかくれもなき事實なるが、今回親米主義宣傳のため、政府通信局とも稱すべきものを浦鹽に設立し、哈爾賓、イルクック、チタ、オムスク、チエリヤビンスクに開き『ドウルービスコエ、スローオ』と稱する週刊雜誌を發行する手筈にして四五日前に其廣告的小冊子を一般に配附せり。

◇此の雜誌は標題に對し註釋的に『西伯利に於る米國の行動』と大書し、其目的は要するに親米思想を露人の間に注入するに在り、廣告文に依れば、米國の露國に對する援助的方針計畫を發表し、又米國に於ける興味ある出來事を露國民間に報道すべしといふに在りて近く創刊第一號を配布すべしといふ如何にも親米主義宣傳の機關設置、如何にもヤンキー式なるが、其奇！ならざるは吾人の注目に値す、我邦の一生懸命に骨折つて、動もすれば露人の反感を買ふに比することは、其間に大なる巧拙の差あるを見る。

◇川崎造船所長松方幸次郎氏が洋行の土産に今期の利益分配案を議し、職工慰勞資金、職工救濟資金の外に、從業員生命保險金及び退職手當金百萬圓、技術研究及び實驗資金百萬圓、功勞從業員子弟教育資金五十萬圓、一般獎學資金五十萬圓並に神戶徒弟學校に對し寄附金三十萬圓の項目を實行するに決したるは、彼の大會社、大資本家として當然の事業なりと雖も、由來勞働者に對して冷淡無頓着なる我資本階級に向つて、一大警鐘を鳴らしたるものなり。

◇勞働者對資本家の問題は、歐米に於いては常に繰返さる、所、過激なる社會主義は其間に醞釀せられたるバチルスなり。日本とても此の問題に觸れざるを得ず。危險なる思想の醱酵せざるに先だち、適當の措置を爲すは國家社會の必要たるのみならず、資本家自身に取つても幸福を得る所以の道なり。

◎女子供でも內職で一ケ月四五十圓位儲かる鶉飼ひ

三羽の鶉で三ケ月間に百圓位儲けた人もたくさん有る

家禽鶉は國產として前途有望

◇當用多產系一ケ年三百五十個以上產　並鶉……若親…三十日雛…四十日雛

◇鳴き鶉……白色系鶉……大卵系鶉

◇種卵……食卵……チャボ種々

◇鶉飼料其他飼養附屬品一切

右詳細三錢切手封入御申込次第送呈

何百里の遠地にても鶉及び種卵安著責任保證す

釜山府富平町一丁目電話長八六九番　振替二九三二番　旭鶉園

製造元　東亞物產製機界社調製　大阪市市岡町

文明之天下　トーア式無砂精米搗機　無敵

十俵搗ら百俵搗迄各種◉特色堅牢無比無砂搗精白迅速搗減僅少

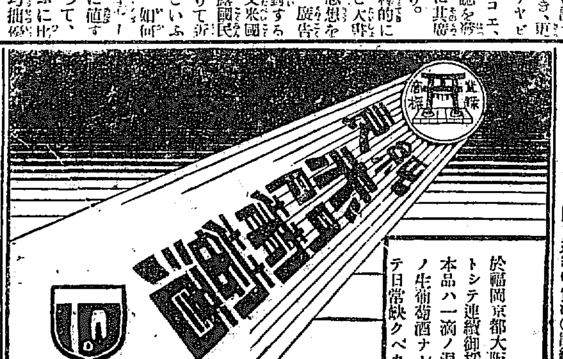
動力掛、水車掛、人力用、各種

代金は据附實驗後月賦割拂等の便法◉詳細は圖入說明書送呈す

於福岡京都大阪各大學藥局醫藥用トシテ連續御採用

本品ハ一滴ノ混和物ナキ純良無比ノ生葡萄酒ナレバ補血強壯劑トシテ日常缺クベカラザル好飲料ナリ

發賣元　大阪小西酒店洋酒部　到ル所藥店洋酒店ニアリ



御歲暮には　白砂糖を……　京城本町　大和軒　電話四八九番

俵賣りも致します

治淋・國產・新藥　GONOSALVIN　ゴノサルビン　白檀油代用藥

優秀卓絕　價格低廉

効果的確にして消化器障碍なく純內國產なれば價格從て低廉

發賣元　大阪市外中津町光立寺　三友製藥合名會社

特約店　大邱道修町武田長兵衛　東京本町小西新兵衛

文獻見本御家に限本社より進呈

小鳥捕用　カスミ網　(極上絹糸製)◎其他雁鴨兎網無雙網等種々あり

高さ六尺　三間　二尺二册　横巾　六尺三尺二册　高さ　一圓半　横巾五間四圓

京城永樂町二丁目　吉備商會　電話三二四番　振替京城四三六番

天下一品　白鶴　增本酒店　仁川本町三丁目　電話一〇九番

各種帽子附屬品卸　大阪東區京橋三丁目但天神橋南詰東　樽本商店　電話東一五九一　振替大阪四二七三六

歲暮御進物用精撰糖賣出し　御砂糖　京城本町　澁谷商店　電話七一七一番

利益配當附保險ニ對スル大正七年度利益配當金左ノ通決定致候ニ付大正八年一月分以後ノ拂込保險料ト差引御支拂可致候

明治四十年度契約ノ保險料ニ對シ年額保險料ノ二割四分
同四十一年度　同　二割
同四十二年度　同　一割六分
同四十三年度　同　一割二分
同四十四年度　同　八分
同四十五年大正元年度　同　四分

右ノ通ニ候也

大正七年十二月廿八日

共保生命保險株式會社

取締役社長　堀[illegible]　取締役　松下文太郎　取締役　岡部菊太郎　取締役　山口[illegible]　取締役　田中小市郎　監查役　生島嘉次郎　監查役　伊藤長次郎　監查役　貝島太市　監查役　茂木惣兵衛

追テ取締役堀[illegible]、同松下文太郎、監查役伊藤長次郎任期滿了ニ付改選ノ處何レモ重任致候也

第二十四回決算

一資本金　[illegible]
一諸積立金　[illegible]
一保險契約高　[illegible]
一創業以來支拂ヒタル保險金　[illegible]

貸借對照表

資產	金額
未拂込株金	[illegible]
現金	[illegible]
郵便振替貯金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
貸付金	[illegible]
有價證券	[illegible]
不動產	[illegible]
什器	[illegible]
未收利息	[illegible]
未收保險料	[illegible]
代理店勘定	[illegible]
假拂金	[illegible]
合計	[illegible]

負債	金額
株金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
保險契約準備金	[illegible]
未拂保險金	[illegible]
配當未拂金	[illegible]
株主配當金	[illegible]
保險契約者配當金	[illegible]
利益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金之ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定準備金　金[illegible]圓也
株主配當金　金[illegible]圓也(年八朱)
役員賞與金　金[illegible]圓也
次年度へ繰越金　金[illegible]圓也

◇王世子へ大勲位

御慶事前御親授あらん

王世子殿下には目下御慶事の日を待ち佗給へる一方に於て只管陸軍大學入學の御準備に勉しみ給へるが漏れ承はる處に依れば天皇陛下には御慶事に先立ち王世子殿下へ大勲位を御新授遊ばさるべしと(東京特電)

▼何ともお答は出來ぬ

殿下は却々御多忙　國分次官談

右につき國分李王職次官は語つて曰く、『垠殿下は目下近衛第一聯隊の新兵隊で最初の一週間ばかりは隊内に御泊り遊ばした、其後は王世子邸から通勤して居られるが隊内に於ては總て他の將校と同じ様に

▽軍務に　勉しまれ却々多忙を極めて居られる、陸軍大學入學の御準備に努めて居られることは事實で特に英語には御力を注いで居られるやうだ、陸軍大學の試驗を受けるには中尉か大尉でなくては其資格がないので垠殿下も其頃には

▽中尉に　御昇進遊ばすであらうが、御慶事前大勲位に叙せられるか何うかと云ふことは偏に大權の發動によるもので臣下としては想像し奉ることは出來ない、從つて今私からは何とも申上げることは出來ないのである』

▽御結婚後御渡歐

平和最初の親睦を表示するためか

皇族使節の隨員として……

王世子垠殿下には明年一月を以て梨本宮方子女王殿下と御結婚後御渡歐遊ばさる、事は既報の如くなるが右は明春一月下旬より佛國ヴエルサイユ宮殿に於て講話會議開催、條約確定通り調印を了し度聯合國の勝利を得たる曉平和最初の親睦を表支する意味に於て英伊白羅皇室より皇族殿下を、又米佛等共和國よりは使節を伺はれも我國に派遣の内議あり之に對し我皇室に於かせられても皇族御二方を御派遣相成る事に内定せられ目下之が人選中なりと承はるが伏見元帥宮には御老體東伏見大將宮には御病弱早々久邇、梨本、伏見各中將宮殿下には御在職中なれば結局閑院大將宮載仁親王殿下が此大任を帶ばせらる、事と相成るべしとの事にて李王世子殿下には之が隨員として御渡歐あらせらるべしと拜承す(東京)

○梨花と李花との……お睦まじき御間柄

＝雪の夜の御晩餐に就て＝御陪席の某大官談

中將宮の御歸京を機會の御催

圖らずも梨花と李花の御兩家にかせられて愈々來春正月二十五日御婚儀の式を御擧行遊ばさるべく既に御準備の進捗の折から去る十一日澁谷なる梨本宮邸に於て目出度き兩家の晩餐の催されたのは既報の通りであるが

★朝より　曇つた空模様がお正午前よりチラリ／＼と降り出した白妙の雪に都も野も山も皆一色の銀世界の只清らかな姿に化したその雪の漸く歇んだ午後五時四十分黑塗二頭立の馬車の轍の音も静かに鳥居坂邸を御出門になつたのが李王世子垠殿下である陸軍歩兵少尉のカーキ色の軍服にて同じく軍裝せる鈴武官を從へさせ三河臺町より六本木に出で霞町の坂を下りて高樹町を經青山六丁目を左に折れて澁谷なる宮邸に馬の足掻がはたと留まれば王世子殿下には徐ろに車を下りられて

★玄關へ　向はれたのである是より先き降り頻る雪を衝いて或ひは自動車に或ひは腕車にて各自參邸の宮邸の人々と共に垠殿下を出迎へ直ちに大食堂へと御案内ずるかくて

★梨本宮　守正王殿下同妃殿下並に方子女王殿下並に家職の人々と共に親しくお睦ましき晩餐を認められたのであるが此の日方子女王殿下には純日本式の御正裝にて華やかなる御容姿は實に神々しき許り御母宮殿下の御側に侍らせられ澄る、許りの笑を湛へられつ、人々の御話に耳を傾けられてゐた時ならぬ花を咲かせた園生の木々に白布を敷いた緑いと濃き松の木立又は白玉を敷くに似たる邸内の其雪景色は一層に今宵の祭に色添へたのである、盡きぬ御語合に過ぎ行く時刻に御暇を告げさせられて垠殿下の鳥居坂に御歸邸あつたのは

★雪の夜　の更けてはいと靜けき八時半であつた翌十二日方子女王殿下には昨夜にもまして麗しき御和装にて父君守正王殿下には陸軍中將の御軍裝同じく妃殿下にも日本式の御裝ひにて南部宮務監督、坪井事務官、北條武官及び妃殿下御用掛の婦人等と共に菊花の御紋章麗しき二臺の自動車を連ねさせられて鳥居坂王世子邸へ御成りあり前夜と同様晩餐を共にせられたかくて懷古談に又は軍隊のお物語其他朝鮮の事より京都の事共即ち種々四方やまの樂しき御語合に一夜を過ごさせられ同じく八時半に澁谷へ御歸邸あらせられた是に就て陪席せし某大官は語る梨本宮家と王世子邸とは

★御婚約　あらせられざる以前より既に親しく御交際あらせられてゐるのであつて妃殿下の京都へ御出の節或ひは守正王殿下、古居御在勤の節等に親しく御往來あらせられ又妃殿下の三島の御別邸が中將宮殿下の御宿所となつた事もあり昨冬より今春にかけ屢々御往來遊ばされた事等決して今の事ではなく實に御親密なる間柄であるまゝ然るに此度婚約の事があつた爲めに先年の事共世間では殊更らに珍らしく取つてゐる様であるが決して今回のことのみに就てなされた事ではないのである只梨本宮守正王殿下が此度

★御歸京　遊ばされたのを幸ひに久方振りに晩餐を共にして樂しく一夜を過すべしとの御意より出でたものである從つて今迄にも例のある事とて御服裝とても別に常に異ならせられる事もなく御陪席の榮に浴した吾等さへも通常服の儘であつた又ある者は女王殿下と垠殿下と一時間餘も御親しく御談話があつたなど、流布してゐる者もあるがそんな事のあり得べき事でもあるまいし而も女王殿下には御母宮殿下の側に侍らせてゐたに過ぎないのである此際世間の目に珍らしく映じたといふ事は尤もなる事とはいひ乍らそれは

★御兩家　に於かせらる、今日迄の御交誼を知らない故であらう』と(東京支局)

○山階宮殿下 安藝に御轉乘

練習艦隊御乘組の筈なりし山階宮殿下には出發前俄に軍艦安藝に御轉乘相成たり

○二千五百哩を飛行す

英印間飛行!!!

某所着電＝英國陸軍少將サルモンド氏は英印間飛行事業開始に關し埃及政府と協議せんが爲め埃及カイロよりカチ迄二千五百四十八哩間の飛行を續行したり(東京特電)

○練習生 遼東半島見學

【鎭海電話】(金山下に投錨)　廿三日仁川に向ふ

既報の如く中野直枝中將の率ゆる練習艦隊吾妻、常盤の二艦は海軍士官候補生百二十三名を分乘し十六日午前十一時旅順に入港し

◆◆黄金山下　に投錨し司令官以下幕僚及び飯田吾妻艦長、小松常盤艦長、乘組將卒候補生一同は午後一時上陸白玉山納骨祠に參拜し司令官及び幕僚一同は都督府を訪問せり候補生一行は十六日午後二時旅順發列車にて旅順鐵道沿線の視察を爲し十七日は午前八時より水交支社に集合し

◆◆旅順攻圍戰　に關する講和を聞き水交支社內の旅順港模型に就き說明を受け後海軍修理工場、防備隊病室を見舞ひ午後は旅順無線電信所、黃金山高低兩臺記念品陳列館、東鷄冠山及び松樹山等の重なる堡壘を見學し十八日は爾靈山、工科學堂、博物館等を十九日は眼水源地及び水師營其他の戰跡を見學し二十日午前拔錨同日大連入港、滿鐵埠頭、工業學校、中央試驗所、沙河口工場等を視察し二十日午後大連發

◆◆南山戰跡　撫順炭坑、奉天、本溪湖等を見學二十二日引還し二十三日午前大連拔錨仁川に向ふ筈なり(大連)

○南洋島民 日本を悅ぶ

森凱旋淀艦長談

十七日午後二時半吳に凱旋せる軍艦淀艦長森大佐の談に依れば今猶ほ南洋群島に殘れる獨逸の宣教師は名を宗教に藉り戰後此島は再び獨逸の手に歸すべしと信ぜしめ居りしが休戰條約の結果永久に獨逸の手に戻らず日本の配下たるべき模樣なりと信ずるに至れり島民は非常に之れを滿足し日本人に所有さる、を誇りとし萬事日本人に接近せんとするに至れり學校も澤山開かれたりと(吳)

○慶北に無煙炭 十鑛區を發見

平安南道龍岡郡龍岡面松田秀次外八名は慶北漆谷郡仁同面、林川面、倭館面附近一帶に亘る無煙炭十鑛區を獲得し一千萬噸の採掘許可を得たるが該鑛區の炭質は頗る良好なりと

七五三繩屋

暮の街から

門松は豆腐店の城の一中腰、さしは一休和尚の睨詩、正月は矢張り清々した切竹に松と梅を配らして、居酒屋暖簾の見上げる軒先にしめ飾りさ彌なくちや物足らぬ、お陰で俺等も温かい新裝の一つも出來ようと云ふもので……とはしめ飾屋の若い衆が蜈蚣のやうな登面で水洟すゝりながら、威勢よく怒鳴つた、倦て夫は夫として一寸しめ繩と云ふものはドノ位の相場かと云へば若い衆心得たりと云はぬ許りに、一口にしめと云つても繩メも色々あり、お飾り繩メが一間について十二錢から十五錢まで、輪メは十四錢から二十錢まで、眼鏡や輪飾になるとズツとお廉く、先づ二錢五厘から四錢と云ふところ、門飾は松竹揃へて一圓五十錢から同六十錢、なれど、此方の目的は其應需より寧ろ小さな熨斗袋の金一封さ御座い、一寸繩メにゆずり葉、橙を配らつて軒先に掛けるさ先づ三圓から十圓の御祝儀、宮なぞは毎年三千圓より貰いこと……

○一家を擧て旅館住

の外人が十餘組

◇賑かなクリスマス

本年は諸物價が恐ろしい程高い上に冬の燃料とてなくてならぬ石炭が割合に高いので可成大きい門戶を構へた外人中には寧ろ難儀を旅館に泊つた方が割合がいゝと云ふ算盤づくで冬期中一家内は勿論下女下男に至る迄引き連れて朝鮮ホテルに泊り込んで居る者が仁川の鑛業家コールブラン氏の一家族を始め十餘組もある是等外人連は眼前に

▽降誕祭　を控へて居るので毎日市中へ飛び出して贈り物をウントコサと買込んで來る尚ほ來るべき新年ではあるしウンと呑み暮さい新年は平和第一年目の芽出度いと云ふ話が取交されてゐるホテルの方でも今年の降誕祭はウンと賑はさうと云ふので明治屋に命じて廿四日の晩から社交室を美麗に飾り立てる事となつてゐるが當日は例に依つて宿泊客一同に

▽七面鳥　のゴ馳走をする事になつてゐる尚ほ本年は日本料理が高いので忘年會をホテルに申込んで來る者が非常に多い今日迄の宴會人員は既に數百名にも上つて居る中でも一寸大きい宴會は東拓十周年祝賀會で二百名であるが何の早い連中では既に新年宴會を申込んで居る者が數組ある始末でホテルは

▽大繁忙　を呈して居る更に兎角物價騰貴の影響は斯麼處に迄及んで來たお蔭で儲かるとホテルの一人は語つて居る

○九管大疑獄 控訴判決

宇佐見は無罪が懲役五月に

九管瀆職事件控訴判決は十八日長崎控訴院に於て左の如く言渡ありたり

懲役五月(原審無罪取消)追徵金百二十一圓八錢三年間執行猶豫　鐵道院參事　宇佐見寛爾
懲役一年(原審懲役一年取消)追徵金千八百六十九圓　門司輪運配車係　井上
懲役六月(原審懲役六月取消)追徵金千六十四圓　熊本驛長　柴田猛雄
懲役七月(原審懲役七月取消)追徵金千四圓三十四錢四厘　赤間驛長　植村晃衛
懲役四月(原審懲役四月三年間執行猶豫取消)追徵金二百十四圓三年間執行猶豫　中間驛長　河邊信次
懲役三月(原審懲役二月取消)　川崎炭坑主　城島敬五郎
懲役三月(原審懲役二月取消)　廠內鐵業販賣部主　狹間延平
懲役五月(原審懲役五月取消)追徵金四百九十三圓廿七錢三厘年間執行猶豫　若松驛助役　林富司
懲役三月(原審懲役三月取消)　貝島鑛業商主任　赤松治部
懲役三月(原審罰金二百五十圓取消)　麻生商會事務長　野見山米吉
懲役三月(原審罰金二百五十圓取消)　鎮西炭坑人事係長　本吉四郎
罰金二百圓(原審懲役一月取消)

長崎驛長森七郎外十五名の控訴並に檢事の控訴は何れも棄却されたり(長崎)

◇大元氣の朝潮◇

○朝潮は一貫目増した

太刀關の横綱奉納　期待さるゝ元氣者

朝潮、伊勢の濱の一行は十七日京都へ歸着したが今度の巡業は六月朔日に大阪相撲の宮城山(大關)一行と合併して先づ北海道の函館を振出しに北は樺太迄行つて引返し青森から段々越後、越中、若狹と打ち夫から京都、奈良を廻つて今月十六日三州の豐津を最後に恰度

▽九十五場　を踏んで歸つたのである越中富山は太刀關の故郷で而も是が關取の引退相撲と云ふ譯で太刀關も華々しく最後の横綱を張つて夫れを土地の氏神に奉納した、朝潮は巡業中二貫目も増して今の處卅五貫ある、紅葉川などは何時も稽古に熱心してゐたが其爲に日頃指切りしたアノ前髮を剃つて仕舞つた、一行中の鷲高山、吉瀬川、土州山など孰れも

▽偉い元氣　で十兩の阿久津川、太刀光等の番附所の土俵に目醒ましい奮闘振りを見せやうが茲に氣の毒なのは伊勢ノ濱關で途中脚疾の神經痛が起つて名古屋附近の興行中一週間程休み其後餘り稽古も行らなかつたさうな

○仁川の火災

本町目拔場所

◇全燒一戶倉庫二棟

二十日午前三時仁川本町一丁目村谷本店金物倉庫に出火あり西側に密接せる朝鮮銀行支店を初めとし附近には村谷本店、慶田組本店、藤本商店及び十八銀行、百三十銀行其他大商店、銀行等の所在せる處なるだけ一時は非常の混雜を呈したり火と同時に宮町望樓より警鐘を亂打し續いて現場に隣接せる警察本署の打鐘と共に常備消防隊は勿論豫備消防隊および非番巡査直ちに出動消火に努めたるが

▲西北の微風　なりしと消火栓の位置最も至便なりし等により消火上遺憾なきを得全燒一戶倉庫二棟半燒倉庫一棟にて延燒を免れ午前五時鎭火するを得たり出火の場所及び原因等に就ては全く不明にして噂とり／＼なり燒失家屋は倉庫に隣せる茅野理髮店一戶にして他は悉く倉庫なるが而も可燃性の貯藏を爲し居るものに非ずして鋼、コールタ及び別にコークスの貯藏に過ぎざるより見れば自然の發火とも見るを得ず然れども或は倉庫出入者が

▼煙草の吸殼　を投げ捨てたのが原因を爲して遂に失火に至れるに非ずやとも想像せられつゝあり損害約二萬圓に達せり

◇川柳壇新設◇

選者　劍花坊先生

川柳は平民文學中の最も短き人情詩にして、源を江戸時代に發し、明治三十六年井上劍花坊先生起つてこれを新時代に當てはめしより日に月に隆盛を極めつゝあり、本紙は來大正八年一月の紙上より川柳壇を新設し、劍花坊先生を以て選者とし、左の方法を以て弘く全道吟士を迎へんとす。

用紙ハガキに限る、無制限なれども題毎にハガキを別にせられたし(一)一月十日〆切(二)京城日報社川柳壇係宛(一)表面に『川柳壇投稿』と書入る、事

題　例

京(字結び意味共に宜し)
京の町平ら所で上り下り　古川柳
京で見た物皆花と言ひ　劍花坊

城(同上)
楠、鼻を抑へて采を振り　古川柳
今暮らも日に傾城は抱かず　古川柳

日(同上)
十三日迄は大石笑はず　劍花坊

報(同上)
電報の危篤で師心矢の如し　劍花坊

○内地向の贈答品

内地への贈答品は朝鮮特有の物産に限る事と云ふ迄もなし海市について聞くに内地向きとして最も歡迎さるゝものは食料品では明太魚のカラスミをはじめ明太魚の粕漬、糀漬、鱈の味噌漬などで器物では薬燒、高麗燒、神仙爐、螺鈿漆器などで是等は羽が生えて飛ぶやうに賣れて行く相だがこの外人蔘應用の菓子類も喜ばれるとの事商店では顧客の便宜を圖り内地及び地方への贈答品は先方の宛名さへ知らせて置けばチャンと荷造りをした上發送して呉れるから非常に便利である

◇警察の窓から◇

▲除雪　降雪の場合街上の除雪をすることは各戸に心掛けて貰はねばならないとであるが鮮人間に於ては之が實行されて居るに拘らず内地人側では放棄して顧みない人が多い。以後は必ず實行して貰ひたいものである。

○明太豐漁

咸興南道管内は明太魚漁期に入りたるが近年になき豐漁にして今月十二日迄の漁獲高は明太魚一千二百二十一俵平均二十馱價格一千二百二十圓の水揚を示し現に一馱六十圓乃至六十五圓を以て賣買行はれ居るを以て各投資は既に投資額の過半を回收したるを以て漁民は一般に前途を樂觀し居れり

○本能寺の講話　市内觀水洞本能寺にては二十二日午後七時より如昌上人の『公衆』前面にて御笑ひ被下度候』と題しての講話ある

四温日和

▲無くて七癖とやら、清水席の愛次は何か可笑しいことがあるとパツチリ手を叩いて笑ふ、可笑しくて／＼堪へ切れない時には片手で下腹を抱ね片手で疊を叩いて笑ひ轉げる▲それで何處のお座敷でも愛次が居る時はすぐ判るさうな、この愛次はこの間發奮式な東京の小染會の會員で太棹にかけては却々鮮かな腕を持つて居る▲志家に寄仙(十一)と云ふ可愛い半玉が居る、十八日の夕方お湯から歸つて來るとお約束を書き止めておく黒板に『偕く(?)』と云ふ字が書いてあつたので『偕くはお約束……』と早速化粧を始め衣裳を着替へた姐さん連大いに怪しみ『寄仙さん、お約束は廿一日ぢやないの』と云ふと寄仙坊りゝさうに『外の字は知らないけれど寄仙と云ふ字があつたからお約束だと思つたの……』は邪がない

灯ともし頃

▲京城にもサモワル會と云ふものが出來たが一會員の話によるとサモワルとは露西亞の湯沸かしの事である▲構造は朝鮮料理に使ふ神仙爐を大きくしたやうなもので下の方の振子をひねると熱い湯がジヤーと出るやうになつて居る▲曾つて板垣伯が露西亞の土産にこのサモワルを貰つたが湯沸かしと云ふ事を知らぬ爲便所の手洗場に据ゑ付けて頻に重寶がつて居たところ▲或る日露西亞通の中島少將が遊びに來て是を發見し實は斯々と説明したので伯も苦笑しながら『宛で都で頬冠りしたやうなものぢやハツハヽヽ』

社告

例年の通り十二月分支拂は十二月廿五日午前十時より午後五時迄と相定め申候

十二月廿日　京城日報社

◎奉天と人

[illegible]七日午前八時四十分著列車にて來たるが一泊の上歸奉の豫定
[illegible]少將は十七日午前七時二十五分著列車にて來奉[illegible]
[illegible]大連支社へ出張中の處十[illegible]

天氣 [illegible]

演藝案内

有樂館　電話二二〇五番　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　▲十九日より特撰寫眞公開　ユニヴアーサル會社特約　▲實寫 石炭洗ひ上げ 全一卷　▲悲劇 愛國心 全五卷　ユニヴアーサル會社特作品　▲人情劇 海の娘 全五卷 米國ユニヴアーサル會社特作品 女名優ルイス・ラブリー孃出演 日本辯士界の花形 石田旭花說明　▲喜劇 毒瓦斯と他火 全一卷

壽館　本町二丁目　電話一五五〇　英國軒ハレー一行　特別大曲藝　金拾錢均一

黃金館　電話(長)二六六七　▲新派劇 大秘密 第十五篇 第十六篇

阿部豐後守 全四卷　激流を乘切つて十萬石の加增を受けたる

德川の忠臣(全通し)

浪花館　京城明治町　電話二六〇　▲浪花節競技大會　▲寬永武術傳(桃中軒雲輔)　▲嗚呼天命(桃中軒如雲)　▲佐野次郎左衛門(京山若丸)　▲水府公(京山大多福)　▲新作白狐　より忘年の砂の[illegible]拾錢均一

文樂座　本町五丁目　電話一三二八　浪花節應用劇 高砂家鐵窩一行　二十日第八回目替　午後六時開演　前狂言 曙取千兩幟 千田川豐吉 信　切狂言 岡野金谷之門 繪津面取り

大正館　日本活動寫眞株式會社代理店　櫻井町　電話八七三　▲十九日より特別大寫眞　▲實寫 パイナツプル栽培　▲喜劇 女辯護士　▲米國カレム會社製 ◎探偵劇 指輪行衛 五千呎　▲尾上松之助大一座出演 ◎舊劇 首變り大名 全三卷　◎新派大悲劇 國の譽 全六卷

ぜんそく　永年ぜんそくで御困難の方も一服にて効ある靈妙藥を無料で效ゆ　試料添へ御問合あれ詳報す　播磨明石櫻町

子宮病こしけ　女の命を取る　血の道ヒステリー産前産後月經不順頭痛逆上眩暈耳鳴肩の凝り血食慾不進腰冷込大便秘小便近く内膜炎不眠症等女の病一切手早く治る不思議の藥　惠命湯說明書人助けの爲送呈す　大師堂

りん病七日藥　いやでも治る　○○○慢性淋病 女子淋病 睾丸炎　○○○急性淋病 膀胱加答兒 尿道狹搾　永年實驗の信用ある發明品 治る不思議の藥也 說明書送呈す　東京神田今川小路一の六　大阪南區堺筋八幡筋北入　本舖 山口藥院

貞敬夫人韓山李氏永々病氣の處養生不相叶去る十八日午前一時死去仕候此段謹告仕候

出棺本月廿五日午前十時(自宅)安城郡邑內石井里　同二十七日午前十二時(於公州郡西面春宮里)山墓

大正七年十二月二十日

承重孫　閔裕植
孫　祐植
孫　瑗植
泳敦
泳天
親戚總代　李復珪
兪星濬
友人總代　金谷充
加藤房藏
阿部充家
工藤壯平
藤村忠助
金漢奎

到る處の文房具店にあり

ラーヂ萬年筆(目下新發賣)

賜各宮殿下御買上　明宮内省御買上

東京市日本橋區通油町　文房具商學校御用　酒井長次郎商店　振替東京四九五三

男子用壹圓五拾錢より金十圓迄　婦人用金貳圓卅錢より金八圓迄

ポンプは熊平

京城　熊平支店　振替京城一二三番　電話長三一二五六四番

任の途に就けり

◇吉林領事森田寛藏氏 九時五十分奉天發列車に…

◇大内代議士通過 國民黨代議士大內暢三氏は十…件を帶び兼ねて吉林方面視察中なりし…

◇小西支店長 朝鮮銀行大安支店長小西幸雄氏は十八日午前八時發列車にて鐵嶺出張所へ向ひ…

◇…が日ならず青島方面視察の途に上…

◇武內滿鐵社長 …夜朝鮮經由歸奉せり

◎連絡船上陸客 十九日朝入港博愛丸一、二等客

◎安東縣より

安東支局 一記者

安東縣剣下の重大問題こして世人の注目を惹きつゝあるは銀相場の建値問題なり、由來銀は兩、紗票、大小洋錢等の各種あるも主こして安東市場の相場を左右するものは兩即ち鎮平銀にして日本の金建に依る時は近來一兩は常に二百一二十圓內外を昇落するもの々如し

◆安東縣物産 の大宗こも云はるべき木材は其の本家たる採木公司が銀建なるを以て凡て原木の賣買は銀建によりて行はれ大豆柞蠶の如きも同一なれば銀價の高きこ安きこは一に懸つて日支兩國商人の營盤に大影響を及ほすや論なし、然るに最近に到り支那商務總會は日本の銀行に預金しある凡ての現金をして近頃創立せられたる貯蓄總會に預金の振り替へをなすべく厳命し且つ安東の銀價が常に上海相場より安きを以て現銀の流出するを防止するこ云ふが如き意味に於て頗る厳重に警戒を加へ來れり是れ素より

◆種々の原因 あり、種々の感情問題あり、殊に幾分かは利權同收熱も加味し居るべく又單に商務總會の獨斷專行的行爲このみ云ふべからざるものあり、畢竟するに其の策源地が奉天の東三省巡閲使分省等にあるや論なし、然るに最近に到り商務總會は總會が作成し安東の銀相場は必ず上海の相場に準據すべく若し違ふものは官憲の力を藉つて厳罰に處すべき旨の決議をなして發表せり由來

◆銀即ち兩は 中國の通貨なれども一種の商品なり變動相場に據る貫相場、上海大連の相場の高低によりて一高一低せらるゝ事は世人の夙に熟知する處の如し、世界の銀相場によりて左右せらるゝ高低によりて且つは安東市場の經濟狀態によりて安東の銀相場は高き事もあり又安き事あるは自然の力なるも此の際、一商務總會の決議によりて地方の經濟狀態を無視して上海相場を墨守すべしこ云ふが如きは甚だ無理の注文こ云ふべし

◆支那商人は 銀本位を以て萬般の商買取引を爲すこ雖も其の重なる取引の相手方は凡てが日本人なりこ云ふを得べし、日本商人は金本位國民なるが故に假りに一枚の反物を買はんこするにも銀何十何兩は金の何百何十圓に相當するものこ換算するを常こす、從つて安東市場の實情に伴なはざる銀價を以て取引せん事は甚だ迷惑千萬なり支那商人は

◆其の相手が 日本人なるが爲めに其の買掛代金を決濟せんこせば銀を以て決濟を迫るは當然なるべきも萬一今日の如く現銀の流出を防止するこの口實の下に支那銀行の金庫內に秘藏して之を市場に出すなからんか、勢ひ日本人は金換算にて決濟をなさゞるべからず、金を以て受領したる支那商人にして他に流通するに當り受領したる當時の換算率より稍高値に金を賣るを得ば勢ひ百方苦肉の策を弄して猶且つ金を賣るに熱中すべし、金の安きは即ち銀の高き所以、銀の安きは即ち金の高き理なれば金こ銀こは水こ油の如し其利害は常に反撥するものこ承知せざるべからず

◆頃者一例あり 襲に商務總會の總會に列席し其の決議に無理往生に賛成したる舊市街の支那商人某々八名は金數萬圓を抱居せる爲め、之を賣らんか金の安値なるを以て眼前數千圓の損を見ざるを得ざるを以て新市街に在る某支那人銀莊を介して日本人の經營にかゝる安東信託公所に就て金を賣りたる事發覺し事件は益紛糾し來り、王道尹の激怒其の極に達し八戸の支那商人を糾彈して支那市場に出入を厳禁し、且つ仲介の勞を執りたる某銀莊主人をして厳刑に處せられん事を官憲に交渉中なりこ聞く由來商人は

◆厘毛の利を 爭ふは已むを得ざるなり、殊に支那商人の常こして利のある處には死を犯して進むは國民性の然らしむる處なり斯くの如き不法の刑罰ありや否やは猶知るべからずこ雖も坊間傳ふる處によれば其の仲介の錢莊主人は二十萬元の罰金、然らずんば二十年の懲役こ

◆銀市場 の亂調子は是のみに止らず到る處に寡劇、悲劇の錯綜は開かれつゝあり、這は尚且つ傍観すべしこするも日支兩國商人の取引は殆んご中絶の有樣なり、借問す安東商業會議所會頭以下の老爺、殊に安東縣領事森安三郎君足下、此の際緊褌一番訓滿の解決に一肌脱ぐの勇氣はなきや否や

◎年末の大漁 迎日灣の鰊が

◆値段が昨年の四五倍◆

慶北迎日灣にては去る十五日鰊刺網四張の初漁あり四千尾の水揚げを見たるが價格は昨年一尾三四錢なりしもの本年は十五錢を唱へ近日中更に入漁を見るべく下旬頃には大漁を見込み居れる由(大邱)

◎値上の魁(豆腐)

◇釜山浦にては七錢に◇

高い〳〵何でもかでも滅法に高いのが釜山浦の物價で常に平壤京城に比べて約二割三割高い夫れでも商人は引合ぬこ云つてゐるが豆腐屋連は今回一丁五錢の豆腐を大豆が高いこ云ふ理由で七錢に値揚げし一枚五錢の薄揚を五錢にして了つた(釜山浦)

◎問題の棉花=慶北=

出廻り薄き原因こ買入れの困難

慶北本年の陸地棉は各地方面樣出廻り極めて不振にて今日迄大邱に蒐著したるものは義城郡の千八萬斤を最こし亞で安東、淸道兩郡の各三萬五千斤、咸の一萬斤、善山の二萬五千斤其他を合し漸く廿九萬斤內外の出廻りを見たるに過ぎず其原因は一にして足らずこ雖も其主因こも見るべきは米價、綿絲布類の相場に比し實棉相場格安なるこ本年は一般に農家富裕にして且つ棉作豫想より約一割の減收なりし等に基因するが如し而して今日迄の實棉取引相場は百斤に付一等棉平均二十三圓に當り居れるも此の綿棉百斤に對し既に三四圓の高値こなり全南の落札高に比するこきは實に十三四圓の高値こなるを以て各工場こも之が買收には昨今頗る苦慮しつゝあり(大邱)

◎廉い炭が來た

◆併し一人に付き三俵限◆

大邱の木炭價格調節問題は襲に吉松慶北第一部長京城に出張の節本府に農商工部長官並に山林課長を訪ひ木炭の拂下げ方に付懇請する所ありたるが其結果總督府より全北、慶南の兩大學林製炭所に電照し尚ほ吉松部長は歸途全北茂朱に立寄り同地製炭組合當事者こ直接交渉したる結果六貫俵一俵に付大邱驛ホーム渡し一圓三十九錢にて協定調ひたるが同製炭組合には現に二千餘の現品を有し居れるも其一半は群山、木浦地方に送致する筈なるを以て他の一半を大邱に送り分送することゝなりたるが其第一回分三百俵は去る十七日午後着邱したる筈なるが少數なるを以て大邱商業會議所にて廉賣を擔當し木炭の到着こ同時に大邱驛荷物取扱下し場にて販賣する事に決定したり價格は六貫俵一俵一圓四十五錢一人三俵限りこ制限し現金こ引換交附することゝしたり(大邱)

◎滿洲の農村

(二)農家經濟一斑

滿洲では農村の事を屯又は堡こ稱して居るが、此の屯又は堡は日本の町村制に謂ふ町村こは稍其の意義が異つて居る樣である。尤も滿洲に在つても或地方では數個の部落を合したものは會なる名稱を與へ、會には正副の村正若しくは村董を置き、地方稅の徵收其他村治に關する重要事項を處理して居るけれごも、其の組織は極めて不完全たるを免れぬ。併し屯堡こても其の大小は區々に別れて一定して居らぬから、小なるものは二三十戸より、大なるものは四五百戸にも達する。滿鐵の沿線でも遼東半島の如き山岳起伏し土地磽薄なる地方又は昌圖以北の如き開墾後日尙ほ淺き地方の屯堡は概して戸數は少いが、中部平野の大都會に接近した地方の屯堡は一般に戸口が多い樣である。

今南滿洲鐵道會社の調査に據り同沿線各郡の標準的屯堡に於ける戸口の關係を見るこ、復縣(十四ヶ屯堡)は一屯堡平均八十五戸六百五十三人、蓋平縣(十二ヶ屯堡)は同百廿五戸八百九十五人、營口縣(十六ヶ屯堡)は同百三十二戸九百六十三人、海城縣(九ヶ屯堡)は同百六十三戸一千三十四人、遼陽縣(十一ヶ屯堡)は同百七十四戸一千二百八十一人、瀋陽縣(十六ヶ屯堡)は同百七十三戸一千五百十一人、鐵嶺縣(十三ヶ屯堡)は同百四十九戸一千四十四人之を平均するこ一屯堡百四十三戸一千三人に成るが、右の人口は出稼者を除外しての計算である

農地の分配狀態

滿洲の地は一見廣漠こして農村及び農家の割合に農地廣く、其の分配狀態は頗る潤澤なるが如きも、鐵嶺縣以南は人口稠密にして農家一戸當り耕作面積甚だ少く、最小十畝(我六反二畝)內外より最大一畝(我六町二反)內外に過ぎず。鐵嶺以北に至つて初めて稍々潤澤こ成り最大千畝內外を耕作する者がある。斯くの如く滿洲に於ける農地分配の割合が其の外觀こ違つて案外に少いのは、大略次の理由に據るのである。

(一)滿洲の警察制度不備にして農家は匪賊に對する自衛上粗居制を採らずして密居制を取れる事

(二)滿洲農家の家族制度は恰も大家族制度に似て特殊の事情を生ぜざる限り同姓の數家族一棟の下に共棲居せる事(隨つて棟數は僅々四五個の小部落も其の實戸數は數十戸に及ぶ事あり)

(三)支那農民の相續慣習は嫡子相續に非ずして子孫間の分頭相續に因る事(其の結果父祖の時代に多大の耕作面積を有せし者も數代の後多數の子孫に均分するので其の分配面積は當然僅少こ成る)。

而して復縣では農家一戸當耕作面積は平均八反五畝、蓋平縣では同一町一反、營口縣では同九反四畝、海城縣では同八反七畝、遼陽縣では九反三畝、鐵嶺縣では同一町八反六畝、各縣平均一家一戸當耕作面積は一町一反二畝である。更に自作農及び小作農の割合を見るに、

南滿洲では一般民屯又は旗屯には自作農、小作農、自作兼小作農、其他に小作人たるべき資力こ信用こを缺ける勞働農の四種あり其內自作農最も多く小作農之に次ぐ又官有公有地、王公所有地或は大なる個人の所有地內には數箇村全部が小作農及び勞働農たる方もある(東亞經濟時報)

◎東京の女子供が賞美する 隱元豆の國がある

夫は間島と北鮮の奥=年十七万石

十一月上旬より那々出廻りを見たる淸津港の白豆(隱元豆)は今や其の最盛期に入り昨今の淸津は白豆の淸津こ稱すべきに至りたるが今本年の白豆狀況に就て當業者の談を聞くに昨今間島及び會寧方面より鐵道に依る運搬雄基方面より汽船に依る淸津港に搬出さるゝ白豆は

◆毎日平均四五百噸 に達せる而して淸津港地に於ける本年の白豆生産額は全く豫想外こする程にて當業者の間にも其の豫想生産高には非常なる相違あり又道廳其他當局に於て調査せられたるものも全く信を措く能はざるが如き狀況にて實際に

◆奥地旅行者の談 に依るも奥地一般の白豆栽培熱こ非常なるものにて爲に他の作物を壓倒さるゝの狀況なり殊に間島田舍に於ける鮮人部落の家々には未だ收穫し了らざるものや枝付のもの等多々ありて之より搬出すべき白豆の量到底計り難く

◆想像も及ばざる 程にて勿論正確なる豫想は出來ざるも間島琿春及び國境方面の淸津港に出廻るべく地方の總生産高は約十七萬餘石に達すべく昨年の生産額に比すれば約五六十割の増加を見たり而して內地商人及び淸津地方商人の買出しに依り目下

◆奥地は甚だ盛況 を呈し

◆運賃は間島龍井村 より會寧迄普通二圓五十錢最高三圓五十錢なるに本年は六圓を唱へ又海上は昨年阪神迄一圓九十五錢なりしもの本年二圓二十五錢に昂騰せり尚ほ會寧より淸津迄は貨車の運送力一日四百七十噸なれども種々の事情に依り其の能力は約半減さるべし斯くの如く牛馬車の

◆氣候案外暖氣なる が爲め結氷期に入りながら未だ結氷を見ずして豆滿江の結氷を利用し得ざる爲め其の搬出には高率なる馬車賃を支拂はざるを得ざる狀況なり而して昨年の間島地方は本年の

◆排斥こ船腹不足 は同業者をして大なる打擊を與へたり而して本年の白豆は今後三月頃迄は米國に輸出せらるべく其より以後は氣温の爲めに海上に於て出壯絶するものなれども當地方産の色澤或は光澤を失ふ處あるを以て北海道産に比し遙に乾燥せり

◆品質良好なるが爲 或は四五月頃迄は輸出し得るや

◎魔の手に弄れし 虚榮の娘(二)

……平壤の街を彷徨ふ……

うらぶれの病婦

影に潜めるローマンス 彼女を渡鮮せしめるに至らしめた從姉の内山はるは黄海道の片田舍で小さき料理屋を營める者であつた、而も悪辣なる手段こ方法こを用ひて世を渡る恐ろしき女であつた、渡鮮した彼は僅に二箇月にして從姉なる内山はるが閉店するこ共に黄海道安岳郡邑內なる料理店兼旅館を營める宮崎某なるもの、家に百二十圓の前借にて奉公さゝる、身こなつたのである、茲に相違の彼女は實に一時は悲嘆に暮れたのであつたが

弱い彼女の運命

は到底之を打破るこごが出來なかつた、而も自己の身に代へた百二十圓の金は彼の懐に這入るごころか目にさへ入らなかつたのであつた、幼時親に捨てられ他人の手によつて成長した彼女には奉公なるもの、苦痛を忍ぶに敢て難事ではない、然し今の彼女は淸い生涯を營むこごの出來ない身である、それが

彼女の最も痛苦

こするこころであつた、自己の身體のみならず貞操に換へた其の百二十圓の金は從姉の影こ共に日ならずして消ねて失つた、斯くして彼女は日一日こ不貞の女こなつて一時に沈んで行つた、日一日こ深い〳〵淪落の淵に沈んで行つた、遂に彼は

恐ろしき病毒を

身に受けて今は殆んご其の病苦に堪ふるこごが出來なくなつた、彼女は何時の間にか梅毒を受けたのである、彼女を使役する主人は如何なる性質のものであるか今詳かに知るこごが出來ない、既に病毒を受けて勞役に堪へなくなつたので其主人は二三日前彼女を伴れて平壤に至り當て紹介した口入業者前田某の許に

置き去りにして

了つた其間には如何なる話があつたか判らぬが兎に角前田某は大和旅館こいふ名前こそ立派だが朝鮮人の宿屋へ投宿せしむるこここして今日に及んだのである、然るに

病苦は遠慮なく

彼女の身に喰入つて苦痛こ煩悶に堪へない彼女は暫したりこも其苦を忘れんが爲に前日の樣に暮の街を彷徨うて居たのであるこいふ事が判つた

◇未の歳の藝人◇

大正八年未歳に當る俳優は安政六年生れ六十一歳の源之助、芝鶴▲明治四年生れ四十九歳の伊井蓉峰、村田正雄、喜多村綠郞、川上貞奴、藤川岩之助、舊派では大阪の璃寛▲明治十六年生れ三十七歳は村右衞門、小次郞、桝之丞、新派で桂三郞、久保田清、稻富寛、樂大會の樂翁歳▲明治廿八年生れ二十五歳は時藏▲藝人では弘化四年七十三歳のりう馬、圓樂▲安政六年六十一歳の吾妻路宮古太夫▲明治四年の四十九歳は文三、市馬、柳橋、龜次郞▲明治十六年の卅七歳はさん馬、小せん、小常、桃生(東京)

◎本年の最高相場は

も知れざるも大抵は本年末迄買出し以後は搬出のみに止むべしこ尙ほ白豆價格は休戰確定に依りて一時百斤十一圓二十一錢迄下落したる事あるも昨今は相場持直し十三圓こなりたるが十三圓五十錢なり而して本年の如く相場の亂調子を見たる事はなく尙ほ今後こも此の相場を持續するなるべしこいふ(淸津)

◎仁川に於ける 春の仕度

餅…お飾…門松

愈々暮が押し詰まつて茲兩日を過ぎたら勇ましい杵の音に中には三味線を入れて日出度々々餅を搗く所が此處の辻井處の門にも響いて來て暮の氣分が頗が上に濃かになつて來る今年は總じて物價が高い上にも

◇糯米の高さ こ來たら目の飛びだす樣で一升四十七錢から八錢五十錢こ處こ家こに依つて値段が違つて居る然し今年の賃餅は總て同一で仁川では一升十二錢に三組ある搗請負は丸山組を始めこして三錢位に高くなつて居るが新堤の暗買した節季こしては割合に搗賃だけは勝つた率が先づ安いこ云つて好いそれでも一升十二錢であるが四十八錢の糯米を買ふこしたら安くて一斗六圓はかゝる昏麼に高いから今年は

◆餅が減る かこ云ふて決してそうでなく高い高いは口許りで矢張當り前には搗くから決して其の數は減じないこ云ひ作ら何をいつても景ろ加減の好いこの値頃は仕うかこ尋ねてみるこ

◆松竹梅 の三尺もの一〆もの本年は一倍半で去年四圓で出來たものは今年は六圓こ云ふ割合即ち年は六圓それから一尺に就き一圓より去年五圓で出來た四尺の門松が今年は七圓五尺ものになるこ八圓こ云ふ順序である勿論安價の飾りもあるが海老は之れに附隨した値段だこうである(仁川)

◎飛行家志望

◇大邱から飛行學校へ◇

大邱京町居住太田要輔(二三)こいふ青年は過ぐる共進會中彼の飛行機鵜羽號が大邱の上空高く日々輕快に飛翔せしを見て大に感ずる所あり飛行家たらんこ決心し襲に來邱したる飛行家山縣豐三郎氏の斡旋にて今回民間飛行家伊藤音次郎氏經營の飛行練習所に入所する事に決し近く大邱を出發する由(大邱)

◎煙草四十萬貫

◆有名なる慶南の河東◆

慶南河東郡は葉煙の集散地こして有名なるが近來市場愈盛況を呈し全南求禮、光陽方面より集中し同市場に於ける本年の集散高は四十萬貫にして價格五十萬圓以上に達する見込なりこ慶南道書記は語れり(晋州)

◎洗張を頼まれて

みんな質に入れて消費す

慶南晋州大安村洗張業大坪罪一(三七)は內鮮の婦荒木つるこ共謀し依頼されたる洗張依託品二十餘點此の價百餘圓のものを入質して費消せし事發覺し晋州署に逮捕されたり(晋州)

◎滿鐵の地所を種に詐欺

大分縣宇佐郡南院內村當時安東縣六道溝の住小野友吉は本年八九月頃六道溝の滿鐵所有地を種に日支人數人より約一千圓詐取せし件に付安東縣領事裁判中の處十三日懲役六月一年間執行猶豫こなれり(安東縣)

社告

豫て各道各所に御依頼申上け置き候ひし鮮滿便覽編纂材料に就ては編輯締切の期日も相近づき候故恐縮乍ら此際至急御送附の程御願申上候也

京城日報地方部

◎氷上に醉倒れて凍死

鎭南浦碑石里五九番地炭人夫李在鄕(三六)こいふ爺さんは日頃酒醉する癖あり泥醉して昨夜中に鎭南浦驛前の溜池へ落ちたるも氷上にも氷の上で其まゝ熟睡せるため終に凍死したりこ(鎭南浦)

仁川閑話

年末の仁川市中の景氣は馬鹿に好い▲それも其筈一千の總公評職工は年末の格別勉勵に付いて給與せらる、賞金の大抵十五割から十八割少こ二十割なんて正に一箇月分も氣持よく戴くこ云ふ月收の當り年であるから▲從つて君連の北叟笑も一通りでない何よりの證據には雜貨屋や小間物屋に到る迄へイお客樣でこニャリこ恰好が一番證明して居る▲低う景氣が不締つた裡にも飛び上がるこ最も繁昌して來るのは料理屋である、さらぬだに宴會季節こなつた花柳界は今ぞ一年の書入時こ幅も仲居も藝者衆も暮の苦しさを忘ふ暇さへ無いほごに左樣にゴタ忙であるらしい▲何處も同じ歌遊廓の內こ來ら例年ならば忘年會は二次會も一寸お手輕で濟んだのが今年は景氣が好いこ見ゑて繰込む〳〵何々忘年會こ各樓に一組宛の宴會があつたこしたら其夜の十二時には俥が足らぬで困るそうだ▲廓の女の忙しさもそれを以て想像が出來る譯だがサリこは羨ろしい歳の暮である

自動車

本校卒業生益々不足校外生こ雖も運轉手技師販賣員こなり收入莫大なり校外生及校內生大募集規則送

東京市京橋區 東京自動車學校 大阪市西區市岡町 大阪講習所

壹千五百組限り 上等毛布 二枚一組二圓五十錢

東京市日本橋區本石町一丁目服部屋商店にて前記上等色毛布の處分投賣を始めたが品質の善き割に値段の安い事は平素信用ある同店一流の良所にて決して他店の摸倣の出來ぬ處也而も二枚つゞき一組乙號只の二圓五十錢特別上製品四圓三十錢白毛布も四圓卅錢こ云ふ破天荒の大見切をなし且同店七週年の紀念こしてメッキでなき自然十八金色指輪を一組の注文毎に一個宛の無代進呈をなすと云ふ因に希望者は至急切にならぬ內ハガキで申込むべし

●油●部分品卸小賣 ●確實●廉價修繕 ▲營業案內進呈 ▲御用ノ方ハ御一報次第參上

京城鍾路一丁二七電話三三八番 楠商店

かぜねつに 一番よくきく キナピリン

効 ●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リウマチス●間歇熱(マラリヤ)等に大効あり

價 十錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓

大阪市堂島元蜆橋 本舗 高橋盛大堂藥局

○到る處の藥店に販賣す

ナイス

自然の黒髪に染る

■五大特長 ▲タッタ二十分で染る ▲自然の色艶に美く染る ▲襟、枕、に汚染の惧なく ▲洗て剥す、毛癖を矯し ▲用法至極手輕便利也

價 ▲大瓶七十錢▲小瓶四十錢 ▲男子用三十錢

全國各化粧品小間物店及藥店に取次す

發賣元 大阪 東京 丹平商會

青星印 カーバイト 新荷到着

破格値段を以て販賣可仕候間精々御用命願上候

京城南大門通五丁目八番地 沼木村商會 電話長一六三四番

ゴルフはタカヂアスターゼを主藥とせる美味の健胃消化劑なり。全國藥店にあり。

胃病に ゴルフ

定價 二十五錢 五十錢 一圓卅錢

東京室町 萬昌製藥株式會社

內科 小兒科

京城永樂町一丁目(商品陳列館前) 村上病院 院長 醫學士 村上龍藏 電話六一三番

正しき補血強壯增進劑 ブルトーゼ

國產フエラトーゼとして大學病院及各府縣立病院の御賞用を辱なふす

説明書進呈

■一瓶容量二五〇瓦入(約半月分)

■各地信用ある藥店に於て發賣せり

發賣元 大阪 東京 藤澤友吉商店

商況

東京株式特電

(日前場) 寄付 止め

[illegible]

東京現株中値 十九日

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

兵庫期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

●正米氣迷ひ

[illegible]

●糯白は區々

[illegible]

◎關東雜穀市況

[illegible]

◉內地礦油氣配

[illegible]

輕油 揮發油

[illegible]

機械油

[illegible]

下關場相

[illegible]

各地商況 十九日

[illegible]

◎木浦米況 十九日

[illegible]

釜山穀物市場 十九日

[illegible]

京城正米市場

[illegible]

仁川正米

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

▲二十日前場 (上放高步調)

[illegible]

市場雜觀

[illegible]

▲內地米の實勢

[illegible]

▲南滿新株

[illegible]

仁川豆米取引所 二十日の二月限

[illegible]

北濱たより

[illegible]

期米 實賣買 株式取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町三丁目 電話長三五八番

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話長三三十番

仁川米豆取引所仲買人 志 仲買店 電話長二八三番

卅六番角力 毛谷村六助

九十四席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

細川越中守忠興侯は後藤又兵衛基次の二男、僅二歳の又三郎を五千石にて召出し、後藤と名乗しては黒田家に遠慮がありますから、後藤と書いてうしろふぢと名乗らせ遣はしました、之を見聞きをした後藤又兵衛は涙を流し喜び、才八郎に別れを告げて豊前の小倉を出立いたしたが、細川家が熊本を領したのは此の後の事でございます、又兵衛はそれより諸方を廻つて大和郡山へ參り、其頃郡山は筒井伊賀守定次の居城下でありました、其の城下へ來て軍學兵法の指南を致して居りまする、何しろ名代の文武二道の達人又兵衛の事であります故、筒井の家中は勿論澤山の門人が出來ました、然し又兵衛は是にて止る人物ではございません、然う斯うする内慶長十九年こなりますると、關東關西が不和こなつて大阪の右大臣秀頼公が内々御教書を諸方へ出すことになりました、信州上田の眞田幸村、四國の長曾我部盛親其他有名の浪人共の方へお使者が參る、中にも後藤又兵衛の許へは御教書を以て郡主馬介が第一番に來た、又兵衛大いに喜んで近々大阪へ入城いたすべくと主馬介を介して申し入れました、處が永らく浪人をして居りました故支度が出來ない、第一鎧兜も無ければ馬も無い、殘らず調達するには三百兩の金が無くてはなりません、又兵衛は是に困つて日々考へて居るこ、門弟共是を見て ○『時に同役、後藤先生は何だか此程考へ事をして氣も浮かぬ樣子、何うしたことであらう』△『大方病氣でも起つたのであらう、』○『判つた、先生も未だ五十を越したばかりで、御家內を無くして何ごか心細いのであらう、一人奧樣を取持たうではないか』△『何にしろ伺つて見よう』こ七八人打揃つて後藤の道場へ參りまして ○『先生今日は 又『イヤ各々お出なさい ○『御身體の工合は如何でございます 又『何うも宜しくない』○『先生の御病氣こいふのは何でございます 又『兎角物が大儀で何をするのも厭だや ○『何か先生御心中に思つて居る事でもあるのではございませんか 又『如何にも ○『然うでございませう、大方然うだらうこ思つて伺ひましたが、奧樣でもお迎へなさらうこいふのでございませう 又『御推量の通り、一人奧を迎へたく思ひますが、何心に任せぬので ○『師弟こなれば及ばずながら我々共御盡力をいたしませうが、心當りの婦人でもございますのか 又『有ります ○『して其の婦人こいふのは 又『恥しながらお聞き下さい。拙者が二世こ語らひました女子こいふは泉州堺の錢屋源助方に勤奉公をいたして居るお閑こいふ者でござる、身受けをするには金はなし、洵に當惑をいたして居ります ○『然て其のお閑こいふ者を身受けをいたしますには何の位の金子が要りますな』又『先づ三百兩は要ります』○『左樣なら其三百兩は我々共が調達いたしませう、僅な金で貴下の御病氣が癒るこいふのならこんな結構な事はございません』又『然らば身受けの金を御調達下さるか、千萬忝ない、持つべきものは弟子である、何分共に願ひます』門弟こいふのは皆筒井の家中にして身分のある二三男、五兩十兩こ出金して三百兩の金子を整へ又兵衛に渡しました故、右の金子を懷中して武器を調達いたさうこ奔走する、何分郡山近傍には良い武器がございません故泉州堺へ參つて見ますると、此處には武具を商ふ家が澤山ある、中に後藤又左衛門こいふ家があつて、紋所を見るこ下り藤、中に後こいふ字が書いてある故、紋こ云ひ名前こ云ひ似て居りまする故不思議に思つた又兵衛、其の藤屋へ入つて參りました。

◎奧地に於ける 俄商人の失敗 投げ賣始まる

本月の初旬頃迄は貨物さへ滿洲里迄持つて行けば倍、知多迄行けば三倍こ相場が定つて居るこ稱されたので俄仕込みの日支露商人が雨後の筍の如く增加して滅茶〳〵に活動した爲め滿洲里國境の滯貨が其主なる原因で後貝加爾鐵道の運輸の遲鈍さが甚しひ上に今度のセミヨノフ事件の爲めに邦人の貨車廻りがパタリこ止まつたのに加へて哈爾賓の物資は益々豐富こなつて行く內地の物價はドシ〳〵下落を傳へられるので慾の皮の薄からぬ俄商人は泣面に蜂の大失敗、加之元來が薄資の無理算段で引出した代物だから月末の決濟が近付いて來るので氣が氣で無く早貨物な歩々投げ賣が始まりそうな模樣である夫を氣の利いた連中は其弱點に附け込んで叩き立て、買ひ落へ來春迄持ち堪へれば必ず儲かるこ利こ算盤の首ッ引で蛇が蛙を狙ふ樣に大晦日の近づくを待つて居る敏活な商人も有るらしい勿論現在の處では折角苦心して滿洲里迄送つても僅五割位の利益を得るも隨分困難だこ云ふ事である(春)

暮の市況

安東縣

安東縣目抜きの市場通りの各商店に於ては年末賣り出しに熱中し居れるが客脚相當にあり非常に活況を呈し居れり中には景品付賣出しこ同時に二割方價格を引上げたる橫着な店もあるものこ聞く

◉日本少年(新年號) 外觀美麗にて內容豐富なり附錄に少年進軍雙六あり肥事に於ては諸將軍の勇ましき戰爭談其他にて殊に附錄『雲の彈丸』は面白き趣向である(二十錢東京京橋實業之日本社)

十二月二十一日

京城本町二丁目 大勉強 大安賣 い 岩見呉服店 電話 一三三三番

▲四綠 此の日は特に踏んであるべき日なり。東南は凶にして吉方は北なり
▲五黃 面白くなき日 酉より行くもよし
▲六白 損のゆく日なり注意が肝要也
▲七赤 不快なる日なり但し酉より吉
▲八白 何事か突込まるゝ事ある日
▲九紫 德のゆく日なり此日に於て物ごとを進むれば成功すべし 親類に吉也
▲一白 目下より立てられて一日愉快
▲二黑 借り好のよしからざる日なり 何事を行ふも
▲三碧 親みのある 何となく便つか〳〵よろづのことに吉

胃腸の消化能力を增進し營養素の吸收力を盛んならしむるホシ胃腸藥

▲消化不良 ▲溜飲 ▲吐瀉 ▲惡醉 ▲宿醉
▲食もたれ ▲飲過 ▲食過 ▲胃腸カタル
▲惡心 ▲胸痞等を原因的に治癒せしむ

消化液の分泌量こ消化能力この關係

凡ゆる食物はごうして消化され、ごうして人體の營養となるかと言ふこ、胃腸內に分泌さるゝ消化液によつて消化され、其の食物の營養のみが人體に吸收さるるからである。而して人體より分泌する消化液は、凡そ一日二十四時間に三升、卽ち三度の食事毎に一升位づつ分泌さるゝものであつて、此の消化液の內には多量の酵素及び酵素(ヂアスターゼ、ペプシンの類)等を含有し、これによつて食物消化、及榮養の作用を爲すものである。故に消化液の分泌薄弱さなる時は消化力從つて衰へ、胃腸障害を起すものであつて、消化液の分泌多量なる時は從つて消化能力強く胃腸は健全なるを得るのである。

ホシ胃腸藥は消化液の分泌を盛んにす

ホシ胃腸藥は東洋第一の星製藥株式會社の工場に於て技師長たる藥學博士監督の下に、阪上、赤津兩ドクトル初め幾多の醫學士藥學士が苦心研究の結果完成せる胃腸藥で、之を服用する時は胃腸內の消化液の分泌を速進し、消化能力を增進し營養素の吸收を盛んならしむる卓効あり、故に毎食後必ず本劑の一匙を服用すれば、胃腸の健康を保つこと明かなり。

定價貳拾錢、五拾錢、壹圓
全國藥店及特約店にあり

東京 京橋 星製藥株式會社 電話京橋 一七八五、三〇二〇、四一七 振替東京 二〇五二

ホシ胃腸藥

京城日報

本紙定價 一ヶ月金七十五錢▲三ヶ月金貳圓貳拾錢▲六ヶ月金四圓四拾錢▲一ヶ年金八圓四拾錢 郵税共▲郵券代用二割増
廣告料 五號十五字詰一行一圓五十錢同特別二圓▲二號七字詰同二圓▲三號八字詰同二圓▲四號九字詰同一圓五十錢同六號十七字詰一五
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 編輯局六六六番 營業局九番 …
振替貯金口座京城三〇〇番

政府對支方針
協調意義
東京 吐峯生

◇帝國の對支方針が、列强と協調を保ち、圓滿なる諒解の下に公明正大なる對策を講ずるに在るは既定の事實であるが、列强と協調を保つに就いても二様の意義あるを忘れてはならぬ

◇第一は日本が英米其他の列强と結束して支那を向ふに廻す事であるし、第二は日本が支那と結束し、日支兩國が異身同體となりて以て英米以下の列國と協調を保つ事である

◇然るに近時の俗論が兎角前者に傾き、支那を向ふ方に廻して列國と共に彼を壓迫しやうとするのは甚る誤れる考へ方である。日本は支那を庇ひ、支那を小脇に擁へながら列强に向はなくてはならぬ。日本は支那の保護者であり、支那は日本を以て唯一の擁護者としなくてはならぬ

◇若し日本が列强と等しく支那を向ふに廻して之れを壓迫せば、支那に對する日本の特殊地位が有名無實となり、日本は列國と同様一人一票の權利しか無くなる譯である。日本が支那に於て一人一票の權利しか無いとなれば、東洋の盟主も亞細亞の優越權も零になる故に日本は飽迄支那其者と結合して列强との協調を圖らねばならぬ

◇此の意味に於て原内閣の對支勸告が、識者の疑問を招いて居る若し政府が世間の俗論に迎合して勸告政策を敢てし、依て以て列强の滿足と歡心とを買はんとしたのだとすれば少しく見當違ひの結果に陷りはしまいかと思ふ

◇但記者は政府の對支方針其者に反對する者でない、たゞ以上陳ぶるが如き關係であるから、今度の講和會議に就ては、日支兩國は其の提出條件に就き一層切實なる打合せと諒解とを遂ける必要あることを主張するものである。即ち易言せば、支那の提出條件は豫め日本と相談して日本の承諾したものたるを必要とするである

◇然るに事實は之に反し、兩者の諒解は決して完全な域に達して居ないのである。支那の講和特使陸徴祥君は、態々數日を日本に費して行かれたが、講和條件に關する協議は、至つてあつさりしたものであつた。これは日本に取つても支那に取つても決して慶すべき事でないと思ふ

◇若し日本の俗論が、列强と協調して支那を向ふに廻すと云ふが如く、支那側の出[illegible]他の列强と諒解を遂げて日[illegible]取ると云ふが如き具合に[illegible]ならば、双方の不利益之に越した事はあるまいと思ふ

◇支那の講和條件は新聞紙所報の如く、領事裁判の撤廢、關税の改正、東清鐵道の解決、青島の回收、西藏の解放等で、尚此の外駐支列國軍隊の引揚、租借地の回收及び居留地其他支那主權の侵害條項全部の改廢等を含んで居る。支那としては尤もの言ひ分であらうが、青島の回收其他我日本の利害に關するものは決して少くないのである

◇故に當地の有識者中には、支那政府が日本政府と完全なる諒解を遂げず、是等條項を直ちに講和本會議に提出するに至らば、將來頗る懸念すべき事態を醸生せずやを憂慮して居る。隨つて我政府に在りても茲に着目し、能ふ限り支那と意見の交換を行ひ、以て兩國間の確執を講和會議に暴露するが如き失態無きを期するに努力する筈である(十五日)

列强對支那經濟發展(七)
山東鐵と鑛山(續)

▲或は希望也 と云ひ又餘り有望なるものにあらずと云ひて良否未だ判明せざるも山東鐵道沿線が如何に鑛山に富めるかは敢てリヒトホーヘンの說明を待つ迄もなく、到る處土人が不完全ながらも手掘にて鐵石炭の採取を爲し居る事實に照すも明かなるべし要するに鐵道沿線に散在せる是等の鑛山は山東鐵道會社の一大寶庫とも云ふべき者にして戰後我國が山東鐵道を領有するに於て當然鑛山の採掘權も附隨し來るべきは言ふを俟ず

抑も山東鐵道は僅に三百哩に達せざる小鐵道に過ぎざれど其終點たる濟南府は古來支那中原の地たる河南と相接壤して軍事上より見るも頗る重要の地位を占め北は二百五十哩の津浦鐵道に依りて北支那の中心天津と聯絡し南も亦津浦鐵道に依りて揚子江の要鎭南京を制し得るなり從來南滿洲の鐵道に依りて

▲一局部に蹰躇 して支那に對しては所謂隔靴搔痒に及ばざりし我國も將來山東鐵道を所有するに至らんか其勢力を支那中原に伸ばし得るの時機到して待つべきものあらむ其他烟濰鐵道借款有先權(芝罘濰縣間百八十哩鐵道布設權)が大正四年の日支交渉の結果により我國に於て獲得するに至りたるは固之當然のことゝ云ふべきなり其處分に關して多少の問題たるを免れざるは津浦鐵道北段なるべし若し山東鐵道を我國に收むるの精神よりすれば獨逸の資本に依りて敷設せられたる津浦鐵道北段も又必然我國の所有に移すに異論を挾む餘地なからんも道途傳ふる所に依れば青島に攻擊軍を送りたる當時英獨合同行動なるが故に此前後に於て兩國は戰後に

▲山東の處分 に關して了解を得る必要あり結局戰後津浦鐵道北段を英國に與ふるの内約を結びたりと云ひ既に今日同鐵道は英國の技師に依りて管理せられ居れりと云ふ此間情報猶不明に屬するも此北段をして英國に與ふることは全然避けざるべからず同鐵道の南段が英國の敷設せるものにして亦北段の敷設に對しても多少の關係はありたるものなるが英國は長江流域を以て勢力範圍若しくは特殊利益地と稱し竟に他國をして一指も染めしめざるに此津浦鐵道の北段にして英國の取得する所とならんか

▲英國の勢力 は此一條の鐵道を通じて北支那一帶に伸びて英國從來の聲明に反するものあればなり故に津浦鐵道北段は之を完全に我國に收むるか若し然らざる場合に於ては之を支那に返還するを寧ろ適當の措置と云ふべく斷じて英國に附與する能はざる性質のものなるなり斯くの如くにして遂に獨逸の有せる經濟的勢力は玆に支那より一掃せらるるに至るべきなり是より轉じて露國の有せる經濟的勢力が果して如何なる運命に到達すべきかを觀察せざるべからず

▽英露の角逐

上述の如く獨逸の經濟的勢力が戰後支那より一掃せらるべき事は略疑ふべからざるが如し將來全然獨逸が支那に再び經濟的勢力を扶植することなかるべきか若し勢力を扶植せんとするに當りては何れの地を基點として之を爲さんとするかは頗る興味あり且つ注目すべき問題たるを失はざるなり既に獨逸の經濟的勢力が斯くして支那より一掃せらるべき

▲運命を觀察 したるを以て之より更に轉じて露國の經濟的勢力が如何なる運命に到達すべきかを一瞥するの必要に迫れり由來露國の經濟的勢力は内外蒙古及び北滿洲方面に扶植せられたるが此方面に西伯利關係を講究するは其の目的とする所にあらず今は姑く中部支那を中心として列國の錯綜せる經濟的勢力の分布を概觀せんとするものなるを以て北滿洲及び內外蒙古方面の研究は之を他日に讓り單に中部支那に於ける露國の經濟的勢力を考察せんとす露國が勢力範圍なりとして勢力の扶植に努めたるは主として内外蒙古、北滿洲に在るを以て中部支那に對しては從來餘りに羽翼を伸ばすことを能はざりしなり然れども露國の極東政策は北滿洲内外蒙古の小

▲天地に躊躇 して滿足したるにあらず此方面に勢力を扶植し鞏固なる足場を作るに汲々たりし所以は其目的の寧ろ小ならざりしを語るものにして遂ては大鵬の翼を支那中原の地に張らんとするに在りたらや疑ふべからず左れば彼の鐵道利權の獲得が列强唯一の競爭目標として而も激甚を極むる列强の競爭として展開せらるゝや茲に稀有に開始せられたり就中英露の角逐は最も猛烈を極め端なくも爭端は極東の天地に於て開かれんとしたり然れども一夜中央亞細亞に於て協商を遂げし英露兩國は更に再び極東に於て相爭ふの愚策不利を覺り遂に鐵道に關する英露協商を結ぶに至る(英經濟通信)

四國復員開始

交戰各國は休戰條約の成立と共に野戰軍及び後方部隊の復員に着手し周到なる注意を以て職業、糧食、運輸機關の配給等を顧慮しつゝ、實行中なるが英米佛獨四國の復員現況左の如し

▽獨逸の復員 十一月二十五日陸相の聲明に基づき實施中なるが野戰部隊と勞兵會との小衝突に依り其後多少遲延の跡ありしも大體に於て千八百九十六年兵及び其以前の老兵は十一月二十五日迄に又千八百九十七、八、九の三年度兵は同月三十日迄に復員を完了せしむる豫定なりしと云へば恐らく昨今は既に更に新しき年度兵の復員實行中なるべしと想像せらる尚ほ獨逸陸相の聲明中には千八百八十一年兵及び夫より新しき年度兵の復員に關しては後日別に軍令を以て公布すべしとの一項あり以て獨逸軍の復員は國內の事情の許す限り著々進捗せしめんと策せられたる者と見て不可なかるべく又休戰條件に基き獨軍の撤退地域內に住居を有する兵卒の復員は他に關係なく特別に實施されアルサス、ローレン兩州內に居所を有せし兵卒は本人が殘留を希望せざる限り既に其全部を復員せるが如く又ライン兩岸地方に居所を有せし者の復員は將校、下士及び千八百九十八、九年兵を除く外休戰條約成立後即時に實行せられたりと云ふ而して全軍を通じ千九百年兵の復員には未だ着手せざるも獨逸陸相は最近除外例を設け家事上及び一身上の都合に依り特に歸鄕を希望する者は全軍を通じて即に除隊せしむる旨を公表せりと云へば其復員も既に實行せられたるものと推せらる

▽佛國の復員 は獨逸より更に秩序的に實施せられつゝあるが既に實行濟となれるは千八百九十年兵のみにして該復員に際し佛國內の主要都市パリ、リヨン、マルセーユ、ボルドー、サンテチエンヌ、ツーロン、ロアン、アーブル、ナント等に於ては當該都市の居住者たりし者若くは其家族が當該都市に避難中なる者の外入市を拒絕し多數の失職者を出し生活上の壓迫より過激思想の市中に流入せらるゝを恐れ極力其の防遏に力めたりといふ尚ほ佛國軍中には四十九歲、五十歲と云ふ老兵の召集せられたる者ありしも此等は夙に一般より休暇を與へて歸鄕せしめたる儘召集を爲さざりしを以て事實上復員濟と同一狀態にありと

▽英國の復員 に關しては最近、陸、航空三省より職業別になる職業を有する將校、下士卒より先づ復員を行ふ旨公示せしを以て恐らく其方針に依り逐次復員中なるが如きも詳細の情報は未だ明かならず

▽米國の復員 方針は大體現に出征中なる軍隊(約百廿萬人)を殘置し他は全部復員するに決し既に復員濟となれるは野戰砲兵旅團二十、海岸砲兵聯隊八個、野砲兵旅團八個、飛行中隊八十二個、建設中隊十七個及び在英國特種部隊若干にて尚內地に在る將卒百七十萬中よりは十一月中に約廿萬を除隊せしめたるが今後の復員は發成大隊、飛行用木材產出團、中央將校學校、合衆國護國軍、鐵道部隊、補充廠部隊、補充兵隊、[illegible]する豫定なりと

休戰延期公表

十二月十三日附ツレブス(獨逸名トリエル)に於て對獨休戰條約期間延長に關し左の通り協定成立せる旨十五日朝公表せり

千九百十八年十一月十一日本休戰條約に調印したる全權を帶有する下名等は左の追加協定を締結せり

第一、千九百十八年十一月十一日締結の休戰條約の期間は千九百十九年一月十七日午前五時迄延長せらる此一箇月の延長は講和豫備條約締結迄延長せらるべし但し聯合側諸政府の同意を留保す

第二、十一月十一日の休戰條約諸條件の施行は其未だ完全に實行せられざるものあれば國際休戰委員最高司令官の指揮に依り休戰延長期間内に決定する規定に依り完了せしむべし

第三、十一月十一日の休戰條約に左の條件を附加す聯合側最高司令官は何時にても適宜と認むる時は新なる保障を確保するためにコロン橋頭の北方より和蘭國境に至るライン河右岸の中立地帶を占領するの權利を留保す右占領は同司令官より六日以前に豫告せらるべきものとす

エルツベルゲルは右會議の際逸(脱)に履行せらるべき糧食の缺乏を訴へたる後講和豫備條約締結のため速かに商議を開かんことを要求し議會の開催及び日取を出來得る限り速かに決せんことを要求せり(十五日巴里發)

實科 裁縫講習錄

以前はよく裁縫が講義錄でなど勉強が出來るものかなどと輕蔑的の言葉を漏す人があつて、またこれを本當だと思つた人も隨分澤山あつたものです。併し『論より證據』と『いろは歌留多』にもある通り、眼前に本會の最新講義錄のやうな完全無缺と自覺し得る最新最良のを見せられては、いくら頑固な講習錄不可能論者でも成程是ならば裁縫は獨りで樂く學べると云はれる事請合です。色々の書籍や講義錄で勉強して裁縫は迚も獨習の出來るものでないと諦めた人が最後に落附のが本會の講習錄です。獨習が出來ないか、入會して御覽なさい論より證據證據は事實を斷定します。元三越吳服店裁縫部に永年の經驗ある技術者を講師とし棚橋絢子女史を會長に每月二回講義錄を發行して居ります。それは何處までも實際を主としたもので從來まで何人もお氣の付かぬ裁縫の急所を公開したものであります、講習は懇切丁寧を如何な素人でも僅半箇年で立派な裁縫が覺えられます三錢切手封入申込めば送本致します。

東京神田橋外 東京和服裁縫研究會

演藝講談界

娛樂雜誌界の花形と大評判の本誌

新春第一の家庭和樂好讀物

大發展面目一新

大好況 十數萬部賣切 注文到 賣切眉焦に迫る

長篇 友禪物語 岡本綺堂

歷史小說 妬む蝶 長谷川時雨

△十大家が心の傑作揃ひ△
- 俠勇說 武士の意地 半井桃水
- 美談 蛇美人物語 福助
- 沈說 仇討 奴之助
- 實話 ……の妻 平山蘆江
- 奇聞 遠州屋嘉衞 長谷川
- お三の 正順院とお順 心子
- 又中 八彌が新妻 筑波四郎
- 獄譚 名優關三十郎 夢想兵衞
- 奇談 封切戀の力 大河內翠山
- 女仇討 豐上の松 水谷紅
- 講談お伽 …… 西谷紅
- 新情調 錦繪 … 田中畢

〇歌舞伎の寫眞〇芝居の忠臣藏〇仁左衞門の由良之助〇歌右衞門のお輕〇左團次の勸進帳〇常盤座の福助〇淀君の當り狂言〇梅幸の水木お初〇明治座の新狂言〇市村座の歌舞伎〇吉右衞門の知盛〇新富座の當り狂〇神田劇場の不知火〇岩井粂三郎の扇〇宮田の色長〇傳次郎の光秀〇須磨子の狂女〇納子の入門〇他寫眞版多數

讀物滿載

長篇 栗原玉葉女史 口繪 池田輝方

新年號 綺麗で面白い 本誌の特色

定價五十五錢 郵税二錢 東京牛込 演藝社

宮尾小說 柵田の堪忍袋
佐藤紫仙 赤城の大仕合 如燕
實地情話 鬼薊山の兩雄 馬琴
江戸講談 鈴鹿山の兩雄
男爵 櫻の玉姬 伯山
落語 お雪 大あたり 三遊亭圓右
見たまま 此糸蘭蝶 辨天小僧 女鳴神 當狂言外各座

八代目團十郎 演藝界 俳優の演藝界 俳優加留多評 劇壇派穴覗き 俳優七福神 春與太皷の音 演藝界問答 雜錄 其他別に

好評嘖々 五の長編
- 新講談 黑髮夜叉 前田曙山
- 新作講談 烈婦お友傳 花村月洲
- 歷史小說 復讐菖蒲刀 須藤南翠
- 長講談 鍋島猫騷動 倍道軒
- 新小說 毒藥の壺 北島春石

八年中の運試し イロハ讀くによる

新講談俳句川柳大懸賞募集 發表

職業

手輕で寄麗な座敷で出來る日本鉛筆製造は確實な工業です[illegible]
職業案內書を見よ 見本四錢代[illegible]
理店大募集 大阪天滿橋[illegible] 日本鉛筆製造所

當社石御用品の眞價は既に世評に定評あり近々類を附したる類似の僞品多し本品の軸部には Swan の英字菊印押捺せり
到所の文具店に有り

午後六時迄營業仕候

營業時間延長

年末御多忙の折柄御便利を相圖り來る廿日より二十九日迄十日間午後六時迄營業仕候

□目下開催中□

年末年始 御贈答用品賣出

羽子板陳列

クリスマス用玩具陳列

新年用食器陳列

京城 三越吳服店

TAKA-DIASTASE

高峰博士發見

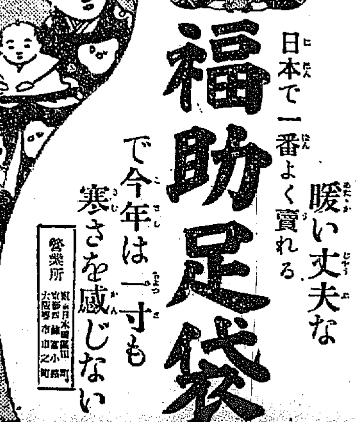
タカヂアスターゼ

本品は本邦人に最多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸障害に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り確認賞用せられつゝあり。

本劑は從來米國にて製造したるものを輸入せしも前年より本會社品川工場にて製造し純國產品となれり。類似模造品は時日經過と共に效力消却するを普通とす、我タカヂアスターゼは效力永久不變なり。

內外醫學者の實驗報告書無代贈呈す。

東京室町 三共株式會社



名實共に 日本一

雪が降つても氷が張つても

暖い丈夫な 日本で一番よく賣れる

福助足袋

で今年は一寸も寒さを感じない

營業所 東京日本橋區... 京都西洞院... 大阪...

十二月十五日より三十一日迄

錦紗御召物、丸帶、縮緬長襦袢、紋付類高貴男物、其他長トンビ類

景品附歲暮大賣出し

安心して買へる正札店

あわじや

京城本町二丁目 江頭衣服本店 電話一三二五番

京城本町一丁目 江頭衣服支店 電話九一七番

◇園侯渡歐期決定

西園寺侯は一月十四日神戸解纜の丹波丸にて渡歐の途に就く可く内定せり同船の馬耳塞着期は三月三日の豫定なりと(東京特電)

◇英首相徵兵廢止主張

倫敦來電＝英國首相はルーター通信員との會見に於て『余は世界各國の陸軍徵兵を廢止せんことを主張す』と述べ如何なる講和會議も此件を決せざれば無意義なり英國全權委員は權力此の目的を貫徹することに努むべしと云へり(東京特電)

◇講和順序商議

巴里來電＝ウイルソン氏は前佛外相と講和豫定順序を商議せるが、大統領は未だ國際聯盟の成立の爲めに申出でたる提議に對し贊成の意を表明せず(東京特電)

◇波獨國交斷絶

アムステルダム來電＝波蘭は獨軍が波蘭人に反對し過激派と策應しつゝあるより獨逸との國交を斷絶せり(東京特電)

◇カタロニア州議員議會脫出

倫敦來電＝西班牙カタロニア州選出下院議員は全部議會を脱せるが是れ同州人の叛亂を豫想するものにて君主制崩壞の前兆なりと觀測さる(東京特電)

◇獨政府結合維持

海牙來電＝獨逸政府側は憲法制定議會召集迄現在の結合を維持すと(東京特電)

◇米國艦隊歸還期

華盛頓來電＝米國海軍卿は歐洲に在る米艦にして歸還するも支障無きものは總て歸國せしむべく十二月二十三日頃迄に歸着せしめたる上にて觀艦式を行ふ由(東京特電)

◇米國海軍擴張論

華盛頓來電＝米國大藏卿は公債十億弗募集の必要を通告せりパッチャー海軍大將は米國を世界最大の海軍國たらしむるに十分なる經費支出の要を切論せり(東京特電)

◇米國在外商業顧問設置

華盛頓來電＝米國は在外大公使館に商業顧問を置くことに決定せり是れ戰後の貿易に對し商人を援助する爲めなり(東京特電)

◇過激派殘黨討伐

某所着電＝十六日ゼーヤ附近に過激派の殘黨五百現はれたるが我軍は討伐隊を派遣し多數の俘虜を獲たり(東京特電)

◇ウォロゴドスキー辭表提出

浦鹽來電＝ウォロゴドスキーはコルチャックに辭表を提出せり兩者の關係圓滿ならざるものゝ如し(東京特電)

◇コ將軍と極東兵權

某所着電＝セミヨノフはコルチャックが極東の兵權に干渉せずば彼の執政官たるを認むべしと(東京特電)

◇北方議和大綱

北京政府の議和大綱は左の如し(北京特電)
(一)立法は全國の意嚮に據り南方のみの意に據る能はず(二)軍事は範圍を定めて統一す(三)財政は双方決議に據る

◇財政委員會成立

北京財政最高顧問として總統府内に設置す可き財政委員會は廿日成立會を開く可く委員長に周自齊氏委員は熊希齡氏以下十三名也(北京特電)

◇代辦公所設置

徐總統は南北議和事務處理の爲め代辦公所を總統府内に置く事を命ぜり(北京特電)

◎滿洲採炭組織

奉天商業會議所の調査によれば曩に東洋炭坑株式會社が採炭權を獲得したる奉天省西安縣大疙瘩炭坑は屢來試驗を經たる結果愈有望にして滿洲に於ける撫順炭坑に次ぐの大炭田なることを確認し得るに至れるを以て新に資本金一百萬圓の滿洲採炭株式會社を組織し本店を東京に支店を奉天に設置し從來の東洋炭坑奉天支店の事業を繼承し最初は先づ西安炭坑の專門經營に當ることゝなれり而して同社は去る九月十日東京に於て創立總會を開催し已に奉天に於て支店設置の手續を了せるを以て前記の如く東洋炭坑支店の事務を引繼ぎ東洋炭坑奉天支店は撫順支店となり專ら同地搭連炭坑の經營に從事する事となりたり西安炭坑は世人の知る如く炭質優秀にしてコークス製造に適し其の將來の需要方面は俄に逆睹し難き者あるが同地は即ち開原、海龍間の海開鐵道沿線にして現在にては直ちに運炭の方法なきと共に新に鐵道を敷設するは亦容易ならざるを以て同社の方針として同鐵道の開通と相俟つて極力開掘すべく差し當り同炭坑の積極的開掘準備を完成する筈なりと

◎資金受授通牒 京畿金融組合

松本京畿道第二部長は二十日附通牒第百二十三號を以て管内金融組合理事及び金融聯合組合理事長に對し金融組合資金受授に關し通牒を發したるが之れに據れば金融組合が聯合會に預金する場合は最寄朝鮮殖産銀行に

▲現金を拂込み其の旨聯合會に通知するものとし朝鮮殖産銀行が前項の拂込を受けたる時は聯合會の當座勘定口へ入金するものとし金融組合が聯合會に預金する場合に於て朝鮮殖産銀行に現金の拂込を不便とするときは郵便爲替貯金に依り當該聯合會口座に拂込又は口座爲替の手續を爲すこととせり而して前二項の場合に於て聯合會が組合の拂込金を領收したる時は其旨を組合に通知するものとし金融組合が聯合會に預け入れたる預金引出を爲さんとする時は

▲引出通知書を作り之を聯合會に送附すべく聯合會が預金支拂の場合に於ては郵便振替貯金拂出書を作り之が支拂を爲し其組合長に通知するものとし金融組合は至急を要する場合に限り聯合會に於ける預金の現在高を表し之を限度として最寄殖産銀行に就き逆爲替の請求を爲すことを得るものとす前三項の場合に於て金融組合が聯合會より預金の拂渡しを受けたる時は其旨聯合會に通知せざるべからず聯合會が金融組合に資金の貸付けを爲す時は借用證書を徵し現金は直ちに當該金融組合の預金に組入れて其旨

▲組合に通知すべき事とし金融組合に於ける貸付金が償還期限に至りたる時は聯合會は直ちに償還すべき金額を當該組合の當座預金より引落し借用證書及び領收證書を組合に送付するものとせり而して組合は前項に依り借用證書及び領收證の送付を受けたる時は前記第八項に依る預金引出金の收通知に準じたる通知書を聯合會に提出することゝ爲せり尚殖産銀行の當座付替及び逆爲替に關しては無手數料とし別に電話の場合に於ては其實費を金融組合又は聯合會に於て負擔すべき事と規定せるものなりと

◎全鮮市場狀況 合計千二百二十二個所

大正六年末に於る全鮮市場數は公設(府若くは面の經營に屬するもの)一千百十六箇所私設(會社又は個人の經營に屬するもの)百六箇所合計千二百二十二箇所にてこれを前年末現在に比すれば公設に於て二十四箇所を增し私設に於て十二箇所を減じ總數に於て差引

▲十二箇所の增加を示せり言ふ迄もなく市場は朝鮮に於ける商業機關として地方經濟上に至大の關係を有し即ち大正六年に於ける市場の賣買高は其總額六千二百四十五萬千六百三十八圓に達し之を前年に比するに千百五十六萬二千七百四十八圓の增加を示せり前年に比し斯の如く著しき增加を示せるは單に物價の騰貴に伴ふ自然的の現象なるのみならず又生産物の價格騰貴副業收入及び各種事業の勃興に伴ふ勞銀收入等農家及び勞働者階級の經濟力の增進に伴ひ市場の景氣を強めたるに因るものとす尚

▲一箇年五十萬圓以上の商取引を有する市場は京畿南大門市場の百七十萬七千三百圓を始めとし東大門市場の百二十八萬七千四百圓中央集散場七十一萬一千三百餘圓忠南大田市場の五十萬九千八百餘圓同論山市場の五十一萬九千百餘圓洪城郡廣川市場の五十一萬五十圓同永山郡永山市場の五十一萬五千九百餘圓同金泉場の五十三萬七千百圓慶北大邱の九十一萬…五十四萬七千百圓慶南釜山鎭殼物市場の五十五萬四千二百餘圓河東郡邑内市場の五十四萬七千七百圓平南安州郡塩甕市場九十五萬二千七百餘圓平北川郡邑内市場の八十三萬二千圓咸南咸興市場の六十萬八千二百圓餘同北靑郡北靑市場の五十六萬二百餘圓等十六市場

◎關稅改正會議 廿三日調印の筈

上海に開會中の支那海關稅改正委員會は既に討議を終了し本月廿日調印の豫定なるが右に付き確聞する所に依れば該會議は日、英、佛、米以下十四箇國委員間に於て支那海關稅を改正の目的を以て過去五箇年の平均價格を標準價格とする事を審議中の所此程終了し二十日關係國委員間に調印の筈なりしが右調印の手續に就き各國法制の關係上直ちに調印し難き事情ありて我國の如きも一應樞密院に諮議せざるべからざる次第にして此の結果調印は一先づ本月二十三日まで延期する事とせるが或は更に數日の遲延を見るに至るやも知れず但し支那側の希望もあり旁〻關係諸國間に於て速やかに調印を完了する樣辦法を攻究中なり今回成立の協定中には右改正稅率は戰後二箇年後なるべしと云ふ旨規定せらるべく又改正稅率の適用は調印後二箇月後なるべしと云ふ關稅率の改正のみならず進んで輸出入禁止品目の制限、海關稅納入貨幣の統一其他の關稅制度の改正に關しても既に審議されるものなりと(東京)

◎鮮商側の歲晚

歲末の切迫に伴ひ鮮人側の景況如何と見るに一般生産品騰貴によりて收入增の結果金廻りよく稀有の好況裡に越年するならんと稱せられつゝあり商業者中にはそれらは破産者もあれども少からぬ由

◎南滿製糖近況

近來奉天商業會議所の調査する所に據れば南滿製糖の一日製糖高は約一千俵(百三十五斤入)にして各紀勢に依り多少の差はあるも百斤約十五六圓を以て卸賣を爲しつゝあるが北滿地方の需要旺盛なるを以て到底全註文に應ずる能はず好況を呈せりと又本秋に於けるビートの收穫は當初より天候良好なりし爲め一般者の豫想せられし豫定の七千萬斤は疑ふべき餘地なく又含有量も前年に比し至極好成績にて其の收穫は十月中旬より撫安及び遼陽方面に開始されたるも時局の影響を受け輸送意の如くならざりしも又中旬に於ける降雪は其の收穫及び輸送に對し大支障を來し頗る困難なるしめたる結果奉天工場の事業開始を遲延し十月上旬より事業開始の筈なりしも下旬後に非ざれば製糖を開始の運びに至らざる模樣なるが事業開始の暁には一日約五百噸内外の甜菜を消化し得れば從つて其製糖量も增加の見込みなりと

◎內地受託制限 連帶貨物 鮮鐵の滯貨整理對策

滿鐵京城管理局に於ては既報の如く内地行貨物受託に際し從來出荷主の託送荷物は無制限に其數量を認め在荷として取扱ひしが此結果其の輸送は順繰二三箇月を遲延し徒らに滯貨の聲をのみ大にするの弊あるに鑑み二十一日より滯貨量を一箇月以内の輸送力と定め若し此の制限内に發送出來ざるものは發送預りの取扱ひをなさざる事となりしが内地行貨物輸送の主要驛たる各驛に於ける一箇月發送噸數制限左の如し

▲南大門八百噸▲仁川八百噸▲鎭南浦八百噸▲西氷庫四百噸

右に依り各驛の在荷制限を越ゆる時は從つて發送預りをなさゞるべしと

▼荷主の希望 小山鈴木店長談 改正の利便と不利

右に付鈴木商店の小山支店長は曰く『鮮鐵で内地連帶貨物の受託改正を實行される事は滯貨の整理上餘儀ない事であらう、殊に二十一日より

▼發送期日の豫告を荷主にお與へになる事は商取引上非常の利便である、之れまでのやうに託送は申し込んだ、然し乍らその内地に發送されるのは何れの日か分らぬやうではその間に相場の變動もあり荷受者の都合もよくないし可なり苦痛だつたのである、又内地行貨物の託送を原則として停車場構内若しくは鐵道倉庫への持込分に限り發送の承認をなされる事も止むを得ないであらう、蓋し内地行き滯貨の聲の高い某々驛では汽車と船の兩股に貨物の託送を申込んで置くと云ふ弊も少くなかつた之等の整理は

▼停車場持込みと云ふ事にされぬと改善が出來ないのであらう、然し乍ら連帶貨物の受託を全線で一箇月の輸送量に制限されたのは荷主にとつて少なからぬ苦痛を與へはしまいか、鮮鐵の内地行き貨物輸送力は滿洲線の通過及び釜山地發を除き一日約五百噸一箇月一萬餘噸と思ふが夫だけ以上の量を全線で受け付けられぬとなれば鐵道による先物の商賣は出來にくい事となる然らば船で送つたらよからうと言ふ議論も出やう然し大豆の如きは鐵道によらねば内地に送れない所がある、乃ち阪神や下關以外の奧地の各驛に仕向くるものはそれである、之等の土地に送るのは二月も三月も向ふまで商約をして

▼從來取引をやり來つたのに一月分以上の連帶貨物を受附けないと云ふ事になれば事實商賣はやりにくい、此點に於て發送の豫約をされるとか何とかの方法を講ぜられたいものである、又主要驛に於ける制限量の決定を見たやうだがコレ等の制限は鐵道はいかに公平に運用して行かれるであらうか、恐らく搬び込みの順序による事と思ふ然りとすれば南大門の八百噸を二三箇月も獨占しやうとするやうな荷主が現はれその人の初めの荷の送らるゝ順番が來た場合引續きズンヽ持ち込んで來たらどうするか、又此人が

▼同時に搬入をなし來…

◎平澤出穀旺盛 商銀貸出七十萬圓

京釜線平澤驛に於ける出穀は近時非常の勢ひにて激増し仁川、南大門、釜山積出の殘貨滯貨は約六千噸四萬二千石の多量を算し居れるが右に對する朝鮮商銀支店の貸出しは…

◎ウイルソン博士入京

巴里來電＝ウイルソン氏は十日臨時東京帝大講師囑託を承諾せる米國植物學者ウイルソン博士は朝鮮植物界の研究を終へ廿日入京朝鮮ホテルに投宿せり

◎京管機關車 本年度内に

京管本年度新造機關車は三十三輛を米國及び沙河口工場に注文せるが沙河口工場の四輛は二十三日中に引取るべく殘り二輛を明年一月中に引取る筈

◎神職講習會開催

十一月二十日より例年の如く神職講習會を開催すべく講習志望者は期日に後れざるやう申込むべしと

◇鳥瞰錄

漢城銀行の東京支店設置は往年朝鮮の商人が江戸に入り込んだと云ふ歷史以來の出來事だと帝都の財界で噂された▲漢城銀行東京支店成績は銀行當局のヤリ方如何にもよるが、母國民の鮮人銀行に對する溫情如何が與つて力ありと云ふ▲先づ出來るだけ引立てゝやらうと云ふ考へは官邊や財界の人々の間に確かにある▲その預金も初日に百數十萬圓を得、爾來逐日殖ゑつゝある▲東京の人士がかく朝鮮人の經營する銀行に溫かい情を有ちて色々と世話をされるのは實に感謝に堪へぬ、同行の專務韓君は語つてゐるが何處まで同行が東京で伸びるか?今後の見物であらう、又一部の財界では同行が東京に支店を出した以上、東京よりも朝鮮と商的因緣の近い大阪にも何れ店を置くだらうとの説をなしてゐる▲之れを韓君に聞くと明答は避けるが大阪にも機を見て進出したいと云ふ意は十分にある▲京釜線の夜行も二十五日から愈々復活される、滯貨の整理上急行の取消しも止むを得ずと云へばそれまでだが▲世界の公道たる鮮鐵の急行が一回しかないのは不可ぢやないかね▲京釜線の列車の雜沓を見ると、滿鐵の當局に人と貨物とはドチラが大事かと云ひたくなるとの投書が來た

◎清津市民大會

…京せしむ可し(清津電)

神戸期米 / 大阪期米 (相場表)

法人及商業登記公告

私立養正義塾ハ大正七年拾貳月六日事務所ヲ京城府蓬萊町四丁目番地ニ移轉シタリ
高陽金融組合理事片岡介三郎ハ大正七年拾貳月六日轉任シ同月拾六日京城府漢江通拾壹番地牧田吉理ニ任命セラレタリ
右大正七年拾貳月拾參日登記
朝鮮銀行ハ大正七年拾貳月拾四日新義州府本町貳番地及馬山府本町四拾五番地ニ支店ヲ設置シタリ
島根縣安來町會社ハ大正七年拾貳月拾日…
右大正七年拾貳月拾七日登記
鮮銀行資本金八千萬圓增加ノ決議ニ付大正七年八月貳拾日各株ニ…
京城地方法院

謝近火御見舞 仁川海岸通一丁目 田中佐七郎
謝近火御見舞 仁川本町二丁目 加來榮太郎 仁川海岸町二丁目 加來商店
近火御見舞を謝す 仁川本町一ノ七 福岡カツ
昨曉近火の際は早速御見舞下され厚く御禮申上候 仁川本町一丁目 朝鮮銀行仁川支店 電長三一二
昨曉近火の際は早速御見舞下され厚く御禮申上候 仁川本町二丁目 百三十銀行仁川支店 電一〇一五八
昨曉近火の際は早速御見舞下され厚く御禮申上候 仁川本町二丁目 株式會社十八銀行仁川支店 電長九一八
謝失火御見舞 昨曉失火の際は早速御見舞下され難有奉感謝候 仁川本町一丁目 村谷勘一商店 電話一二〇
謝近火御見舞 仁川本町一丁目 浦崎回漕部 電話五〇八 五五
謝近火御見舞 仁川本町二丁目 藤木商店 電四〇 糸岐商店
謝近火御見舞 仁川本町一丁目 大和湯
謝近火御見舞 仁川本町二丁目 手島商店
謝近火御見舞 仁川本町二丁目 福島組 電話五三番五四二番
謝近火御見舞 仁川海岸町二丁目 堀商會 電話一〇番四七番
昨曉近火の際は早速御馳付被下厚く御禮申上候 仁川海岸町一丁目 鈴木商店 仁川出張所 電話八三番
昨曉近火の際は早速御見舞下され厚く御禮申上候 仁川本町一丁目 村上本店 電長五六
昨曉近火の際は早速御見舞下され厚く御禮申上候 仁川本町四丁目 慶田海本店 電四二

京日案内
◎簿記係一名入用 希望者は自筆履歷書携帶乞來談 旭町一丁目一四九 板井
外務員招聘 希望者は來談 南大門外 齋藤商店 電話三二六番
◎袴專門 仕立販賣 本町四丁目十五番地 山崎商店
高等御料理 京城長谷川町 新世界
子弟採用 年齡十二乃至十五歲 市内在住の者
◎乳母を求む 朝鮮總督府醫院内 久慈

課選及募集規定

三婦之友 新年特別號 一家繁昌號 本日出來
奥様重寶記 新年號特別附錄
現代模範的家庭の家運
内職案内
婦人哀話 破壞
逆境の出世物語 家運繁昌
長篇小說 金扇 渡邊霞亭先生傑作(結婚の卷)
東京神田表神保町 東京家政研究會

御席貸開業廣告
私儀料理店營業中は一方ならざる御愛顧を蒙り難有奉謝候然る處此度は又高尚閑雅にして便利なる娯樂場として京城に於ては全く始めての御席貸を目論見數萬圓を投じて新築工事中の處愈々落成致し候間新千代本と名附け二十二日より開業致す事と相成候御座敷は各地の粋を拔き大小二十幾室唯々御客樣方の御好みに應じて可申、書畫會圍碁會謠曲會集りの御相談會等の如き御集會や酒肴その他總て御註文に應じ御携帶の御肴樣も御歡迎致すべく御宿泊御入浴の御客樣にも御差支へなき樣廣間舞臺を設け居り候間何卒御愛顧を以て倍舊の御引立に預り度く御挨拶旁この段偏に奉願上候 かしこ
京城旭町一丁目 新千代本 事 鹽澤千代 電話長七〇七番

□世子殿下御慶事日記

御縁談御申込から告期まで

李王世子殿下と梨本宮方子女王殿下の御慶事に關し二十日午後李王職は左の通り發表したり

▼御縁談御申込

十一月三十日　李王世子李垠殿下と梨本宮方子女王殿下との御縁談に付閔李王職長官は李王殿下の命を奉じ東上中の國分李王職次官に對し十二月一日梨本宮へ差遣はさる旨電報す

▼勅許奏請

十二月一日　午前十時國分李王職次官昌德宮御使として御縁談の爲梨本宮に參邸

十二月四日　午前十時梨本宮御使南部宮務監督御縁談に付御回答の爲王世子邸へ來邸國分李王職次官より右の趣き閔李王職長官へ電報

御縁談御承諾に付李王同妃兩殿下より梨本宮守正王同妃兩殿下へ御挨拶の電報を發せられ守正王同妃兩殿下よりも亦李王同妃兩殿下へ御挨拶の電報あり

御結婚の儀勅許御願書提出

▼感勅許下る

十二月五日　勅許在らせられたる旨宮内大臣より通達

國分李王職次官　勅許書拜受

同上に付御通知の爲昌德宮御使梨本宮へ參邸

十二月六日

御結婚　勅許に付李王殿下御禮として奏方山縣政務總監へ御依頼

同上に付御禮の爲東宮及び各皇子殿下へ昌德宮御使

同上に付各宮へ御通知

同上に付御親戚へ御通知

納采期日に關し昌德若宮より梨本宮へ御使

▼御納采の儀

十二月八日　午前十時御納采御使として高王世子附事務官を遣し梨本宮へ參邸

納采濟みの旨宮内大臣へ屆

十二月九日　午前十一時梨本宮御使南部宮務監督御納采相濟みたるに付國分李王職次官より閔李王職長官へ電報

右に付李王同妃兩殿下は梨本宮守正王同妃兩殿下と御祝電御交換

御祝品を齎し王世子邸へ來邸

告期の日時に關し昌德若宮より梨本宮へ御使

李王職々員一同賀を啓す

▼告期の儀

十二月十一日　御結婚勅許に付王世子殿下御禮の爲參内

同上に付梨本宮御使王世子邸へ來邸

王世子殿下梨本宮御訪問

十二月十三日　午前十時告期使として高王世子附事務官梨本宮へ參邸

告期の儀相濟みたる旨國分李王職次官より報

同上宮内大臣へ屆

同上に付東宮及各皇子殿下へ御使

同上に付各宮へ御通知

同上に付御親戚へ御通知

▼御結婚の儀

一月二十五日

式場　霞ヶ關離宮

午前十時三十分御式

◎米價はどうなる?

本年末は現狀持續＝今村精米所員談

◇豐作ではあるが内地の買付が夥しい

糯米は最下等四十六錢也

例年市價の崩落を告ぐべき新米出盛期に際し本年末の米價は一向崩落の兆を見せないのみか却つて暴騰の氣勢を示し一般の想像を裏切つて益市民の生活を脅かしつゝある、本年も最早幾すところ旬日に過ぎないが此の短時日の間に

▽米價が　果して如何な風に變轉するかに就て今村精米所員の豫想を聞くに現在朝鮮の米價は殆んど内地同樣な暴騰を示し昨今新米の出廻期に際して馬關福岡方面からの註文殺到し既に來春一月の分まで需給約束が成立し各精米所の如きは是等の註文引受けに忙殺されて居る、而して是等の註文に應じ得べき

▽朝鮮米　は豐作の爲めに盛んに移出されて居るが一方運輸能力不足によつて到る處に停滯して居る、それで此際米價を幾分引下げ得る餘地は在り得るやうに思はれるが前述のやうに註文殺到の爲めに各精米業者は多大の利益を收め得ると同時に自然大勢に促されて小賣業者を虐めねばならないやうな狀態に立到つて居る、目下京城の小賣値段は升

▽卅九錢　であるが、それでも鮮内各都市の値段に比較して廉價である、つまり今日の所では京城の米價は最低價を現はして居るやうな狀態であるから之れ以上引下げることは出來ないかも知れない、假に引下げ得たとしても又反撥して來ることは明かである、兎に角本年末の米價は依然現狀を持續して行くであらうと思はれるそれから

▽糯米の　値段は今日の處上等は升五十錢であるその下が四十八錢、最下等が四十六錢位である何故こんなに高價を示し居るかと云ふに糯米も矢張り豐作の結果各鐵道沿線には山積されてあるのだが輸送不足の爲めに自然出廻りの圓滑を缺ぎ益暴騰の氣勢を煽るやうになつたのである、だから一般市民は毎年一斗の餅を搗く人は五升位で我慢すると云ふ風になり各小賣屋への註文は例年よりも

▽半減し　從つて小賣屋から精米所への註文も大いに控へて例年の半分位になつて居る何にしても板挾みの窮境に在るのは小賣業者で有福なのは精米業者である、然し今の處大勢如何ともしがたい狀態に在るので精米業者が遊ぶやうな暇な時が來る迄は米價は容易に下落しまいと想像される……

◎桐生屋倒産か

同支店の橘方君曰く

こう〳〵やつたらしいが私の店は獨立してゐますから

東京の桐生屋株式店は十一月に於ける休戰條約の成立を材料とする株界熱狂時代賣方に立つて多大の損失を蒙むり遂に整理の止むなきに至つたとの報がある旨に付桐生屋京城支店として營業せる永樂町の株式店に橘方君を訪へば『こう〳〵やつたらしいです、然し今は私の店は

▼桐生屋　と何の關係もありません』と前提して語る『桐生屋は以前から少し怪しい事が分つてゐたので此の六月關係を斷ち私の店は獨立して東京のヤマ一、大阪の竹原と取引してゐます從つて桐生屋が倒産しても弊店に現株賣買を御依頼になつてゐる客方には何の御損失もかけません、それは六月以前桐生屋

▼支店と　して扱つたものがあらうと云はれるのですか夫は今も若干は殘つてゐますが皆私と桐生屋の關係に移つてゐて大した事はなく客方には些少の迷惑をも及ぼしません元來株と云つても定期と現物の賣買とあり現株の賣買は定期と違ひ慥な現株を買つてそれに幾割かの頭金を入れ銀行の金融を受くるのです、弊店で客の求めに應じその株を買ふ時桐生屋なりに依頼してゐただけですから

▼確乎し　てゐれば何の事もない理屈です、此の異なれる定期と現物を混合する結果色んな危惧の念を湧かさる人もありますがそれは間違つてゐます釜山も仁川も店の出來た時は桐生屋支店だつたが今日では皆獨立して關係はありません』

年末雜觀（四）

『古道具屋』　●●●今年も僞す處徹々になつたので何れの家庭に於ても等しく正月の準備に忙しい事だが黄金町通りを歩いて居ると必ず幾組かの夫婦連の客を見る　骨董趣味に富んだ年輩の新夫婦が古道具屋に重箱をひやかして居る　旦「おやじさん此の重箱は大分古い樣だが幾何するんだい」主「エー其の方は古い事は確かです勉强して五圓五十錢で」旦「……高いよ、もつと古いのならいゝが……もつと勉强して貳圓に」主「イケナイ〳〵」（黄金町所見……とみ……）

◎桃や櫻が返り咲き

しさうな稀らしい陽氣

この數年來ない現象だ

去る十三日の降雪以來暖かい日許りが打ち續き三寒四温の常則は四温々々となつて桃や櫻が返り咲きでもしさうな陽氣さ、京城測候所について訊くと師走に斯んな陽氣が續いたことはこの數年來ないことで全く珍らしい現象と言はねばならぬ、昨年の十二月は

▽近年稀有　の酷寒で殊に十五六日頃から一層寒くなり夫から以後は毎日氷點下十度を超ぬ日とてはなく二十七日の如きは實に二十三度四分と云ふ低温を示して居る、所が今年の十二月は氷點下十三度に下つたのが一番寒い日でその外の日は大抵

▽最低氣温　が氷點下六乃至七度と云ふところで昨年にくらべると殆んど十度内外の差で大變暖かい殊にこの一兩日は暖かい上にも暖かく十九日は日中九度一分二十日は七度六分と云ふ高温を示して居るが斯んなことは最近數年間全くない現象である然しこの陽氣も最う然う長くは

▽續くまい　既に今日あたりは大分氣壓に變化が起り滿洲北部に優勢な高氣壓が現はれたやうだから明日明後日頃から明々三寒に入るであらう所が物にはすべて反動と云ふものがある是迄の暖氣が異常であつた丈この次に

▽來る寒氣　は又異常なものではあるまいかと思つて居る云々、尚ほこの數日來の陽氣で市中は夥しい人出で大賣出しは素晴らしい程の景氣であるが商人側は愈暮のドン詰まりまでこの陽氣が續いて呉れたら夫こそ本當に福々の正月が來ますと嬉しと言つて居る

◇氣温の比較

この數日來最も暖かなりし十九日二十日の温度を昨年の同日と比較するに左の如し

昨年	十九日		氷點下一〇度
	二十日		同　一〇度九
今年	十九日	最高	九度一
		最低	氷點下七度
	二十日	最高	七度六
		最低	氷點下二度一

◎勘彌は……新劇團組織か

◇大阪でまづ旗揚

其實過日帝劇で復興した文藝座の經營者で勘彌とは遠緣に當る林和氏が或る金主を得たので勘彌を中心とする新劇團を組織し先づ大阪で旗揚の陣容を整へて來春二三月頃歸京し其間に小屋借の約束をして花々しく東京に打つて出るといふのが事實らしい、一座は勘彌の同志たる某優と藝術座の落武者とを糾合し半ばは新劇、半ばは舊劇、別に淨瑠璃物を附けるといふ方針で或は土行氏も遊軍として臨時來援するかも知れないとの事である

▽道樂が嵩じたのです

勘彌は曰く『頭はつかへてゐる、若手は巧くなる、其間に挾まれて何うなるかとは思ひますが別に不平なんかありません、田村先生にも是迄種々お世話になつたのですが獅子の子落しの積りで暫らくお暇を戴き度いとお願ひしたのです、云はゞ道樂が嵩じたのですから若しも失敗する樣な事があつたら又何時御厄介になるかも知れませんのでそれもお頼みしてゐるのです、併し那麼場合には歸り新參で不利益だらうとこのお諭しもありましたが、まだ不利益位なら厭ひあるのだと自ら決めに心強く思つて、まアやれる處迄やつて見る積りです』（東京）

◎送電停止　京城電氣會社にては來る二十二日朝市燈消燈後約三時間電力送電を停止する筈なるが右は同社發電所の發電機の修理の爲めなりと

伯父さんと鳩とクリスマス・クラッカー＝明治屋の陳列＝

◎クリスマスの玩具を尋ねて

◇男女で引き合ふ　クラッカー◇

空には星が珠玉と冴えて、美しい夜のこの頃を、樂しいクリスマスはこゝ數日とせまつて行く……本年はわけて、神の齎した平和が、世界各民族の上に下つたのであるから、感謝の爲、喜びの爲め、特別に、大なる

◆◆祝賀を　擧げたいとは各教會、各一般教徒の願ひとする處とて數日來クリスマス氣分は著しく緊張して來た、それについて店頭美しく人を立止まらせてゐる本町明治屋支店に飛込んで聞いて見ると、晴れやかなクリスマス樹を中央に面白く可愛らしい玩具や華麗なクリスマスの裝飾品の山と積まれてゐる中で内田支店長は語る『今年は御承知の世界平和第一年のクリスマスでありますから鳩やその他の贈り物や裝飾品の賣行きは例年より一層旺んな樣ですその他には特に英國へ註文した新意匠の（軍人の肖像等で意匠した）クリスマス

◆◆クラッカー　が著荷して來てこれがなか〳〵出ます是れはクリスマスに無くて叶はぬ一つの玩具で外國ではこの夜の宴にかならず男女で引き合ふものになつて居ます兩端の折目を持つて引き合ふとパチンと音がして破れ中から珍妙な玩具が出るといふ面白い工夫を凝らしたもので一函は一打入八九十錢から上等は十圓迄です』と尚靴下型の袋の中に色々の玩具を入れたストッキングや可笑い格好をしたキユーピーさんやサンタクロースの叔父さんなどが素晴らしい勢ひで出る相である

◎魚は……割合に安い

◇飾鰕が廿錢

正月を目睫に控へた當地の魚價は昨年に比して割合に安く鯛十貫七十圓鰤同卅五圓鰆同四十圓鯖同三十圓鱈同十五圓位であるが近來歲暮の進物として肴類を贈る者が多くなつたので近頃の景氣は素晴らしい勢ひである尚ほ正月用としては車鰕百二三十圓伊勢鰕七十八圓海鼠四十圓位で飾鰕は一個十七八錢から廿錢位である尤も此値段は廿日頃の値段で愈年末が迫つた頃にもなると幾等かの騰貴は免れないが總體に於て本年の賣買は割合に安いだらうと豫想されて居る

◎巡査精勤證書　京畿道警務部にては來る二十三日午前十時より部内精勤巡査五名に對し精勤證書を授與すべしと

◎忘年演奏會　橘流筑前琵琶旭會主催となり二十一日午後五時より壽座に於て忘年演奏會を開催する筈なるが番組左の如し

▲河内の宿（水溪）▲名殘の櫻（水映）▲四條畷（水洋）▲本能寺（水波）▲村上義光（旭香）▲楠中佐（旭園）▲湖水渡（旭陽）▲菅公（旭山）▲茶臼山（五鏡、旭秀）▲屋島（旭鏡、旭柾）▲菊の露（五鏡、旭龍）▲項羽（下）（五鏡）▲筑後川（五鏡、旭彩）▲壇の浦（五鏡、法燕）▲山坂非旭（）

故鈴木校長吊慰及奬學資金寄贈者名

第十四回

一金貳拾圓　京城郵便局職員有志

一金拾圓　私立京城女子技藝學校

一金七圓六拾錢　忠清南道清州公立農業學校職員一同

同　清州公立普通學校職員一同

清州公立尋常小學校職員一同

一金五圓　平安南道順川公立普通學校職員一同

一金貳圓　忠南論山公立小學校職員一同

一金貳圓　咸鏡北道公立普通學校農業學校職員一同

一金壹圓　京元線平康驛　内松浦　任輔

一金貳圓　西大門　李　鳳　鎬

一金壹圓　南米倉町　服部　初

一金參圓　黃金町二丁目二〇三　鈴木百松

一金貳圓　龍山大念寺觀音講

小計金五拾五圓六拾錢也

累計金貳千九百五拾壹圓四拾八錢五厘也

△訂正　第九回の内慶北星州警察署員一五圓とせしは警務部員一同の誤りにつき訂正す

夜勤給仕入用

本社編輯局夜間勤務給仕一名入用（但し當地に父兄無き者は相當の身元引受け人を要す）

京城日報社

大阪期米

神戸期米　十九日後場　寄付　高値　三六、七五　三六、九四

仁川米豆取引　二十日の二月限

仁川期米

母と子（五十八）

北島春石作　森田久畫

自動車（二）

『ね、あんまり巧く行きすぎて……佐久間さん、わたし、何だか怖くて〳〵仕方がないわ。』

『ちや、一萬圓の半分も……』

『それが、お父さんの持つて歸つただけ、七千圓が手もつかずにそつくり。』

『七千圓！』

『さあ、然うしてゐるうちに、お父さんが目でもさましたら大變だから。』と、淡紅子は急き心地『その荷物を……早く何かして下さいな。』

『さうと知つたら、自動車でも頼んでおいたものを。』と、詮一は兩手に二つ宛さげて先に立つ『川口橋まで出たら夜なしの俥があるだらう。』

『あら、彼方へ出ちや駄目よ。』

『何うしてです。』

『だつて、彼方に客待ちしてゐる車夫は、大概わたしの顔を見知つてますもの。』

『そいつは困つたな。』と一思案『うむ、好いことがある。この先に自動電話があつたから、男橋までタクシーを呼寄せることにしやう。』

『ちや、大急ぎで。』

『可！心配せずと待つべしだ。』

詮一が慌てて露路口に飛出したあと、淡紅子は急にがた〳〵顫ひ出した。

今までは氣が張詰めてゐたので若い女としては大外れた事をやりもしたが、いよ〳〵家出をしたとなると、今にもそれと注いた兩親が騒ぎ出しさうに思はれて、その恐怖さは身の毛も戰立ばかり。

『淡紅子さん……』

いつの間にか引返した詮一の秘めた聲にも、淡紅子は氣絶せんばかりに驚かされた。

『さあ、タクシーが來たから、その荷物を此方へ……貴女も小さいのを一つだけ持つて下さい。』

『でも、わたしは。』と、淡紅子寒さのためならぬ顫ひ聲で『何だか急に眩暈がして……自分で歩くだけでもやつとよ。』

『そんな弱い氣を出しこちやない。』と小聲ながらも勵まして、詮一は二度に荷物を運び去り、三度目に淡紅子を扶けて露路口を出ると、女橋の袂には自動車が待つてゐた。

淡紅子はさすがに女でこの一我が家の門を見送り勝に、

『佐久間さん……わたし、もう二度とは高松の家へは戻れませんねえ。』

『無論ですとも。』

『ちや、これが一生の見納めに。』

『冗談ぢやない！然う云ふうちにも心が急く。こゝで見付かつたら、今までの苦心も水の泡……何でも好いから大急ぎだ。』と急き立て、自動車の待つ方へ歩みを移しながら『時に、例の七千圓は大丈夫だらうね。』

『ねえ、確り肌へ附けてますから。』

『それを落すと、我々は首をとられたより御難だから。』と惡怜い眼光して『僕が預かつて置かうぢやないか。』

『でも、今でなくても好いでせうのに、自動車へ乘つてからでも。』

『だから、大急ぎに餘けと言ふんです。』

詮一は無精に急立て、淡紅子を自動車へ連込んだ。

先刻から待兼ねてゐたタクシーの運轉手は、兩人に變な目遣ひしながら、

『何ちらまで參りますか。』と訊く。

『うむ……』

そこまでは考へなかつた詮一ふいに訊かれて答へに詰つたが、直自分の宿を思ひ出して、

『小石川の水道端まで遣つてくれ。』と命じた。

『へい、東京驛のお間違ひぢやないんで。』

『何だと！』

『いや、ナニ此方の事で。』

ガソリンの爆聲高く、自動車は街夜の風を衝いて駛り出した。

小石川の水道端なる宿には、詮一が兄の佐久間猶造と二人で持つてゐる男世帶で、いづれも外出がちだから興の區婆さんが一人で留守番をしてゐるのだ。それにしても、今頃網平はどんな惡夢にうなされてゐるだらう。

勅題料理　正月の新趣向（下）

▼其處で今度は同じく勅題に因んだ三の重煮物を申上げる事にします先…昨……です此の料理は背板昆布をよく洗ひ平目の肉をそぎ取つて擂肉にしてそれに卵白と鹽砂糖を少量加へて片栗粉をまぜて指大位にして昆布三寸の長さのものにて巻き乾瓢で結ぶのですが結び方は兩端五分の處と中央に一箇所結び是を湯にて暫時煮て昆布の柔かになつた時砂糖醬油にて味をつけます此の昆布巻には豚肉を醬油と味淋で漬けたものを代用としましてもお美味いものです次は……梅……ですが先づ最初に比良目を擂肉にしてそれに片栗粉と卵白をつなぎにして

▼砂糖と味淋 鹽にて味をつけそれに食紅を溶き交ぜましたら適宜の大きさにして是をぬつて梅形にして十分間蒸し冷てから小口から切るのです今度は…松…ですが是の料理は烏賊の皮を去り布巾に包み前後を結び箸五本を挾つてから頭の部分を切り開き長目に切り目を入れて砂糖醬油、味淋の煮立た中に切り目を下にして入れて煮ると肉が縮み松かさの形ちになります煮上つたものを取立て殘りの汁に片栗を溶いて是れを烏賊の上にかけるのです以上の三料理は何れも御芽出度い

▼元旦の膳部 お飾るには海に膾羹も好し比較的に簡易に出來ますから說明して見ては什麼ものでせう扨て今度は酢のものですが先づ甘藍を繊に切り汐にてもみ三杯酢に漬けて置くまた岩茸も湯をかけ後細く切つて三杯酢に漬けほうれん草に湯出て後葉は五分の長さに莖は三分に切つて置き玉子の白味で油で東滷にして置き次ぎに

▼鯖は青味作 りにします是は初め三枚に下し若し肉が厚過たら薄くそぎ取りますそして皮を上にして切り目は極薄く二つ入れまして初めの庖丁は下迄切り通しませんつまり一切れの眞ん中に庖丁を入れます斯うしたものを器に見せますそして蘿蔔を白帆に切ります生姜を繊に切り帆柱にして浪の上に浮かせます此の盛り方は甘藍を山として上に卵白を雪に降らせ岩茸は岩に見せほうれん草は山の線に見せそして鯖を波にして帆を浮せるのです是等は盛合せた上から三杯酢をかけるのです此の御料理は佐伯博士の立案になつたものです（終り）

◎室内の温度

◇何の位にするか 冬は寒いのが當然ですが併し家の中までも左樣寒くして置く必要はありません、尤も室内を温かにすると云つて無暗に温かにして置いたら鳥渡外へ出るこ、俄に氣候が變る爲め

◇風邪を 惹く事になります、それから一體、室内の温度即ち室温は何の位なれば寒くなく健康に適するかと云ふと獨逸の衛生學の本などには通例、攝氏の十五度乃至十八度、即ち華氏なれば六十度乃至六十五度としてあります。此位の温度なれば通例の冬服を著て居て決して寒くは感じない樣

◇火鉢に 手をかざさずし手もせずして手の凍る事なく心地よく執務する事が出來ます。同樣に寒さが呼吸器の粘膜にも感じない。寒さの爲めに咳嗽が出ると云ふ事も無いと云ふ事です

◎伯林依然混亂

▲共和護國軍　近頃伯林は非常に[illegible]は最近の形勢に關する[illegible]のスパルタカス團に傾かんこ[illegible]を受けつゝ活動せし當時と四國のルクの資金を投じ其運動に助力せり再びレーニン政府の助力の加へ[illegible]

▲レーニン助力 [illegible]事情を異にし殆んど孤立の勢ひにしたため現在迄は多少活動の餘地わらるべき[illegible]れば今後も依然其[illegible]

▲政府小言 以上の如き[illegible]

新刊紹介

▲人文（三の一二）十六錢東京小石川白山御殿町一一七人文學會事務所

▲實業新報（三〇九）二十三錢東京日本橋區本石町四丁目[illegible]

▲大阪銀行通信錄（二五五）三十五錢大阪北區中之島一ノ二九大阪銀行集會所

▲工業雜報（二の二二）工業に關する數十の寫眞挿畫の外工業に關する[illegible]二十錢東京[illegible]

▲實業之世界（一五の二二）二十錢東京麴町有樂町一の四[illegible]社

▲商業研究雜報（三四）[illegible]

▲地方行政（二六の九）二十錢東京[illegible]

▲第二回臨時海外派遣官報告集（第二）農商務省[illegible]

▲都會及農村（四の一二）十八錢東京麴町平河町五の三[illegible]

▲婦人週報（四の四一）五錢東京牛込市ヶ谷[illegible]

▲京城藥報（五八）一ヶ年金一圓京城[illegible]

▲教育時論（一二一）十二錢東京[illegible]

▲體育研究（十二月號）十五錢東京[illegible]

▲會報（非賣品）東京府[illegible]

▲習字と作文（三の一二）十二錢東京[illegible]

▲石油時報（十二月號）十八錢東京[illegible]

▲東京洋裝時報（四の一二）十五錢東京小石川新諏訪町二[illegible]社

讀者の領分

[illegible]

▲大正八年春場所豫想新番附（一歸師者）

新東方：横綱 大錦、大關 常ノ花、張出 栃木山、[illegible]

新西方：張大關 伊勢ノ濱、大關 [illegible]

[illegible]正七年及び五月場所の成績を參酌し豫想する時は以上の如き番附となるべく殆ど適中するものと信ず茲に各好角家の御高覽を承り度候（愛角生）

最新刊　提唱碧巖集　定價三圓五十錢　送料十八錢　現代青年の宗教心　大里山　定價[illegible]

西伯利案内　定價七十錢　送料六錢

織田氏時代前　定價一圓六十錢　送料八錢

日本商業地圖

大正八年度日記類

京城本町一丁目　大阪屋號

寫眞銅版亞鉛版　京日寫眞製版部

釜山名商店案内

糸門類専　釜山　島田糸店　電話五七八

長岡商店

酒精、西貢米、砂糖、麥粉　大豆・小豆・雜穀・食料品　釜山本町　[illegible]商會

雜貨問屋　明治町　[illegible]

月刊　清酒・罐詰　釜山　あづまや商店　電話三五九番

發行　糖粉・官煙

輸出激增

醫學藥學の先進國と誇りし歐米諸國にても、東洋隨一の婦人藥たる中將湯の偉効は公認せられる時代になりまして、これこそ眞に世界唯一の靈効劑であらうと專門學者が口を揃へて賞讃の辭を與へるやうになりました、そこで一般の需用額は急增して參りました。輸出部員一同は殆んど晝夜兼行の有樣で從業いたして居ります。この輸出激增に加ふに近頃内地即ち日本全土からの需用額も非常な增加で數百名の男女工と從業部員が可及的大努力で製藥をいたしましてもなか〳〵供給が間に合ひませぬ。この大盛況は一重に各位の厚き御信用に基くのですから、本舖發主以下は唯一の靈力を以て能く「至誠本位」なる本舖の標語を貫徹致します。

血の道　子宮病

主治効能　▲子宮病　▲血の道　▲産前産後　▲逆上頭痛　▲血ぶさり　▲氣ふさぎ　▲下腹痛　▲月經滯り　▲夜眠れず　▲腹加答兒　▲癪瘕疝痛　▲腰足冷込　▲癇癪ぶり　▲内臓炎　▲つはり　▲婦人神經　▲こしけ　▲月經不順

定價　二日分二十五錢　四日分五十錢　一週分八十錢　二週分一圓五十錢　三週分二圓二十錢　五週分三圓二十錢

▲加減奥あり容體詳しく御申し込みあれ　一週分壹圓　三週分二圓七十錢

醫藥

いくら
いくら製造力を增しても
なか〳〵間に合はぬほど
中將湯の需用額が
激增！激增!!大激增!!!
擴張！擴張!!大擴張!!!